

令和 3 年 度

工事名：九州森林管理局公用車車庫新築工事

設 計 図 書

九州森林管理局

図面リスト					
【意匠図】		【構造図】		【電気設備図】	
図面番号	図面名	図面番号	図面名	図面番号	図面名
	表紙	S-01	構造特記仕様書	E-01	電気設備工事特記仕様書(その2)
A-00	図面リスト	S-02	壁式構造仕様書-1	E-02	電気設備 部分配置図
A-01	建築工事特記仕様書(その1)	S-03	壁式構造仕様書-2	E-03	電気設備 平面図
A-02	建築工事特記仕様書(その2)	S-04	壁式構造仕様書-4		
A-03	建築工事特記仕様書(その3)	S-05	各伏図		
A-04	建築工事特記仕様書(その4)	S-06	軸組図(1)	【機械設備図】	
A-05	建築工事特記仕様書(その5)	S-07	軸組図(2)	M-01	機械設備工事特記仕様書(その2)
A-06	建築工事特記仕様書(その6)	S-08	基礎・壁・梁・スラブリスト	M-02	給水設備 部分配置図
A-07	付近見取図	S-09	直交集成板・構造用集成材工事特記仕様書	M-03	給水設備 平面図
A-08	全体配置図	S-10	レベル図、部材リスト	M-04	換気設備 平面図
A-09	部分配置図	S-11	アンカープラン		
A-10	建物概要表・外部仕上表・内部仕上表	S-12	壁伏図		
A-11	平面図・建物求積図	S-13	軒伏図		
A-12	屋根伏図・天井伏図	S-14	小屋伏図		
A-13	立面図・断面図	S-15	軸組図		
A-14	平面詳細図	S-16	軸組図(2)		
A-15	断面詳細図1	S-17	フレーム詳細図		
A-16	断面詳細図2	S-18	接合金物図		
A-17	建具キープラン・建具表				

4

地業工事

1

支持地盤

・杭基礎
支持地盤の種類及び位置(基礎ぐいへの先端の位置含む)
・ 図示による ()

○直接基礎
支持地盤の種類及び位置(基礎底部の位置含む)
・ 図示による ()
長期設計支持力
・ () kN/m2 ・ ()

○地盤の載荷試験
○行
試験の位置、方法等は図示による (4. 2. 4)

種類
・ 選心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)
・ 外巻鋼管付きコンクリート杭(SC杭)
SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490
・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭)
・ () (4. 3. 2)

試験値
・ あり 孔径はオーガー径とする 位置等は図示による
試験値の施工は試験杭の施工に先立ち行う
・ なし

寸法、継手、性能等(種類:種類、性能及び耐力強度区分) (4. 2. 2)(4. 3. 2)

	種類	杭径 (mm)	杭長 (mm)	継手数	長期設計支持力 (kN/本)	備考
試験杭	上杭 中杭 下杭					
本杭	上杭 中杭 下杭					

試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う () (4. 2. 2)
試験杭の位置、本数 ※最初の一本 ・ 図示による

杭先端部形状
・ 開放形 ・ 半開放形 ・ 閉そく形 () (4. 3. 2)

施工方法
・ 打込み工法(・油圧ハンマー・ディーゼルハンマー) (4. 3. 3)
・ プレボーリングの併用
・ 行う
掘削深さ及び径
・ 図示による
・ 行わない
打込杭推定支持力の算定
・ 図示による
杭の精度
水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ()
杭の傾斜 ・ 1/100以内 ()

・ セメントミルク工法
アースオーガーの支持地盤への掘削深さ
・ 1.5m程度 ()
杭の支持地盤への侵入れ深さ
・ 1.0m以上 ()
杭の精度
水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ()
杭の傾斜 ・ 1/100以内 ()

・ 特定掘込杭工法 (4. 3. 5)
・ H18国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で
α=250を採用できる工法 図示による
・ 上記以外の特定掘込杭工法 図示による

工法
・ プレボーリング拡大掘削工法
・ 中掘り拡大掘削工法
・ ()
杭周囲定礎
・ 使用する ・ 使用しない

杭の精度
水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ()
杭の傾斜 ・ 1/100以内 ()

杭継手工法 (4. 3. 6)(7. 2. 5)
・ アーク溶接継手
・ 溶接材料
・ 溶仕 7. 2. 5(a)(b)による ・ 溶仕 7. 2. 5(a)(b)以外()

・ 無溶接継手(継手に接続金具を用いた方式のもの)
工法 ※ 審査(評定又は大臣認定)を受けた工法
・ ()
検査 ※ 審査(評定又は大臣認定)により定められた項目
・ ()
施工 ※ 審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による
・ ()

杭頭部の切断 (4. 3. 7)
※ 無し
・ 有り
処理方法
・ 図示による ()
杭頭部の中詰め材料
※ 基礎のコンクリートと同調合のもの ()

4

地業工事

3

場所打ち
コンクリート杭地業

杭径、長さ、仕様等
・ 図示による ()

材料その他
帯筋 ・ 図示による
鉄筋の最小かぶり厚さ ・ 図示による
セメントの種類
※ 高炉セメントB種 () (4. 5. 3)(6. 3. 1)
コンクリートの種類 ・ A種 ・ B種 (4. 5. 3)(表4. 5. 1)
・ A種
審査(評定又は大臣認定)された内容による
コンクリートの設計基準強度 () N/mm2 (4. 5. 3~5)
構造体強度補正係数(S) () N/mm2 (4. 5. 3)
・ 審査(評定又は大臣認定)された内容による
・ ()

掘削工法 (4. 5. 1)(4. 5. 4~5)
・ アースドリル工法
安定液 ・ 使用する ・ 使用しない
・ リバース工法
・ オールケーシング工法
孔内の水張り ・ 行う ・ 行わない

併用する工法
・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 図示による
鋼管巻き材料 ・SKK400 ・SKK490 ()
・ 拡張杭工法 図示による
安定液 ・ 使用する ・ 使用しない
・ ()

試験杭 (4. 2. 2)(4. 5. 4~5)
試験杭の施工 ※本杭の施工に先立ち行う ()
試験杭の位置、本数 ※最初の一本 ・ 図示による

孔壁測定 (4. 5. 4~5)
・ 行う
測定方法、測定箇所は図示による
・ 行わない

杭の精度
水平方向の位置ずれ ・ 100mm以下 ()
杭の傾斜 ・ 1/100以内 ()

工法
・ 浅層混合処理工法
適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による
長期設計支持力
・ () kN/m2 ・ ()
・ 深層混合処理工法
適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による
長期設計支持力
・ () kN/m2 ・ ()

形状、支持地盤、仕様
・ 図示による

長期設計支持力
・ () kN/m2 ・ ()

セメントの種類 (6. 3. 1)
・ 高炉セメントB種
コンクリートの設計基準強度 () N/mm2
構造体強度補正係数(S)=() N/mm2

工法 ()
仕様、範囲、計測、試験等
・ 図示による

材料 (4. 6. 2)
※ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利及び切込砕石

厚さ及び使用範囲 (4. 6. 3)

厚さ	使用範囲
○100	基礎スラブ下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下
・	・

コンクリートの仕様 (4. 6. 4)(6. 14. 1~3)
※ 無筋コンクリートによる () (6. 14. 1~3)

セメントの種類 (6. 3. 2)
※ 高炉セメントB種 ()

厚さ及び使用範囲 (4. 6. 3)

厚さ	使用範囲
※50	基礎スラブ下、基礎梁下、土に接するスラブ下
・	・

施工範囲 (4. 6. 5)
※ 建築物内の土間スラブ及び土間コンクリートの直下(ピットを除く)
・ ()

材料
※ ポリエチレンフィルム厚さ0. 15mm以上 ()
()

防護層の位置
・ 図示による ()

5

鉄筋工事

1

鉄筋の種類

鉄筋の種類 (5. 2. 1)(表5. 2. 1)

種類の記号	呼び名(mm)	備考
・ SD295A		
・ SD345		
・		
・		

形状等 (5. 2. 2)

種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄筋の径(mm)	使用節位
・ 溶接金網			
・ 鉄筋格子			

継手方法等 (5. 3. 4)(5. 5. 2)

節位	継手方法	呼び名(mm)
柱、梁の主筋	※ ガス圧接 ・ 機械式継手	
耐力壁の鉄筋	※ 重ね継手 ・	
その他の鉄筋()	※ 重ね継手 ・	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ (5. 3. 4)(表5. 3. 2)
・ 図示による

継手位置図
・ 図示による

鉄筋の定着方法 (5. 3. 4)
・ 図示による

鉄筋の定着長さ (5. 3. 4)(表5. 3. 4)
・ 図示による ()

最小かぶり厚さ(自地底から算出を行う) (5. 3. 5)(表5. 3. 6)
・ 図示による ()

柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無
・ 有り 適用箇所()
最小かぶり厚さ
鉄筋径の1. 5倍以上 ()
・ 無し

軽量コンクリートで土に接する部分
・ 無し
・ 有り 適用箇所()
・ 図示による ()

耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・ 無し
・ 有り 適用箇所()
・ 図示による ()

鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く) (5. 3. 5)(表5. 3. 6)
・ 図示による ()
・ ()

・ 機械式継手
使用箇所
・ 図示による () (5. 5. 2)
性能(H12警告第1463号に適合するもの) (5. 5. 2)
・ A級
機械式継手の種類() (5. 5. 2)
鉄筋相互のあき
・ 図示による ()
品質の確認方法
・ 図示による ()
不良となった継手の修正方法等
・ 図示による ()

・ 溶接継手
使用箇所
・ 図示による () (5. 5. 3)
性能(H12警告第1463号に適合するもの) (5. 5. 3)
・ A級
溶接継手の工法() (5. 5. 3)
鉄筋相互のあき
・ 図示による ()
品質の確認方法
・ 図示による ()
不良となった継手の修正方法等
・ 図示による ()

各部配筋 (5. 3. 7)
※ 図示による ()

圧接完了後の試験 (5. 4. 9)
外観試験
※ 行う (全数)
抜取試験
※ 超音波探傷試験 ・ 引張試験

組立の形の種別 ・ 図示による

補強方法 ・ 図示による

配筋方法 ・ 図示による

出隅部分及び出隅受け部の補強筋
・ 図示による

一般壁
耐力壁
補強形式
・ 図示による
配筋種別
・ 図示による
梁貫通孔径(部材記号含む)及び配筋種別リスト
・ 図示による

・ 図示による

種別
・ 図示による

6

コンクリート工事

1

コンクリートの種類
及び強度

普通コンクリートの設計基準強度 (6. 2. 2)

設計基準強度 (Fc) N/mm ²	種別	・ 18	・ 21	・ 24	・ 27	()
普通コンクリート	種別					
軽量コンクリート	種別					

軽量コンクリートの設計基準強度 (6. 2. 2)

設計基準強度 (N/mm ²)	適用箇所
・24	
・	

スランプの値(単位:cm) (6. 2. 4)(表6. 2. 2)

打込み箇所	基礎、基礎梁 土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁
所要スランプ	15、18	18

類別
※ I 類 ・ II 類 (6. 2. 1)(表6. 2. 1)

種類 (6. 3. 1)(表6. 3. 1)
・ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が
7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。
施工箇所()
・ 高炉セメントB種
施工箇所()
・ フライアッシュセメントB種
施工箇所()
・ ()

アルカリシリカ反応性による区分 (6. 3. 1)
※ A ・ B

種類 (6. 10. 1)(表6. 10. 1)
・ 1種 ・ 2種

適用箇所 (6. 14. 1)
・ 欄仕 6. 14. 1(a)による箇所
・ 欄仕 6. 14. 1(a)以外の箇所
・ 図示による ()

設計基準強度 (6. 14. 1)
※ 18N/mm2 ()
スランプ
※ 15cm又は18cm ()

目地寸法 (6. 6. 3)(6. 8. 2)(9. 7. 3)
・ 欄仕 9. 7. 3による
・ 図示による
間隔、位置、形状
・ 図示による ()

部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 (6. 2. 5)(表6. 2. 3)
・ 欄仕 表6. 2. 3による
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6. 2. 5)(6. 9. 3)(表6. 2. 4)
A種 ・ B種 ・ C種
※ 適用箇所は図示による

・ 打放し仕上げ(上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む) (6. 8. 2)
の打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
・ 20mm ()
・ 打放し仕上げ(上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ
(内部に面する部分に限る)
・ ()
・ 外壁タイル張りで、MCR工法又は目隠らし(高圧水洗)工法を行う場合は外部側に
20mmの打増しを行う

型枠 (6. 8. 3)
せき板の材料
・ 合板(国産材)
・ ()
せき板の厚さ
・ 12mm ()
断熱材の使用
・ 行う 適用箇所()
・ 行わない
スリーブの材質
※ 欄仕6. 8. 3(X2)及び表6. 8. 1による ()

単位水量の測定 (6. 3. 2)
・ 有り ・ 無し

混和材量 (6. 3. 1)
・ 混和剤
・ AE減水剤 ・ AE減水剤 ・ 高性能AE減水剤 ・ 防錆剤 ()
・ 混和材
・ フライアッシュ(・ I 種 ・ II 種 ・ IV 種)
・ 高炉スラグ微粉末
・ シリカヒューム
・ 膨脹材
・ ()

※構造図による

建 築 工 事 特 記 仕 様 書

建 築 士 事 務 所 名
設 計 者 氏 名

一級建築士事務所 熊本県知事登録 第1625号
株式会社ライト設計
一級建築士 大臣登録 第339105号
佐藤 健太郎 印

工 事 名 称
図 面 名 称

九州森林管理局車庫建築工事
建築工事特記仕様書 (その2)
図面番号
A-02

19

内装工事

8

フローリング張り

9

畳敷き

10

せつこうボード
その他ボード張り

単層フローリング

工法

釘留め工法
(根太張り)
釘留め工法
(直張り)
接着工法

厚さ

※ 桧
・ 15
・ 12以上

大きさ

板幅75
板長さ500
以上

仕上塗装

・ 塗装品
・ 無塗装品

・ フローリング
ボード1等

・ フローリング
ブロック1等

・ モザイク
パーケット1等

接着工法

・ モルタル
継ぎ工法

接着工法

間伐材の適用

・ 適用する
・ 適用しない

※

・ 複合フローリング ※天然木化粧
接着剤工法の場合の接着材
現場塗装仕上げ
※ クレタン樹脂ワニス塗り
・ オイルステンの上、ワックス塗り
・ 生地またはワックス塗り

(19. 6. 2) (表19. 6. 1)

種類

・ A種
・ B種
・ C種
・ D種 (※床:
・ KT-

下地の種類

・ 桧仕表12. 6. 1による床組
・ ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロ)

畳敷き及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びステレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

(19. 7. 2~8) (表19. 7. 1)

種類	JIS 記号	厚さ、規格等
・ 硬質毛セルボード	HW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ ()
・ 中質毛セルボード	MW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ ()
・ 普通毛セルボード	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・ ()
・ 硬質木片セルボード	HF	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21
・ 普通木片セルボード	NF	・ 30 ・
・ 付い離カシウム板	0. 8FK 1. 0FK	タイプ2(無石綿) ※ 6 ・ 8
・ ロックウール化粧吸音板	DR	・ フラットタイプ (・ 9(不能) ・ 12) ・ 凹凸タイプ (・ 12(不能) ・ 15 ・ 19)
・ ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※ 25 ・ ()
・ グラスウール吸音ボード号32K	GW-B	※ 25(ガラスクロス包) ・ ()
・ せつこうボード	GB-R	※ 12. 5(不能) ・ 15(不能)
・ 不燃層せつこうボード	GB-NC	9. 5(不能)化粧無(下張り用) 化粧有(トラバーチン模様)
・ シーキングせつこうボード	GB-S	12. 5(不能)
・ 強化せつこうボード	GB-F	・ 12. 5(不能) ・ 15(不能)
・ せつこうガラスボード	GB-L	9. 5
・ 化粧せつこうボード(木目)	GB-D	12. 5(不能)幅440mm程度 模様 (・ 柎目 ・ 板目) 専用下地材有り
○ 化粧せつこうボード (トラバーチン模様)	GB-D	9. 5(不能)
・ 普通合板		表面の材質 生地、透明塗料塗り (※ワラン程度 ・) 不透明塗料塗り (※しな程度 ・) 板面の品質() 厚さ(mm)() 接着の程度() ・ 防虫処理
・ 天然木化粧合板		樹種名() 接着の程度 (・ 1種 ・ 2種) 厚さ(mm)() ・ 防虫処理
・ 特殊加工化粧合板		化粧加工の方法 ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 表面仕様 ()タイプ 接着の程度 (・ 1種 ・ 2種) 厚さ(mm)() ・ 防虫処理
・ メタミン樹脂化粧板		JIS K 6903による (※1. 2 ・ ())
・ ポリエステル樹脂化粧板		
・ ミディアムデンシティ ファイバーボード	MDF	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12
・ 単板張り パーティクルボード		・ 無研磨板 ・ 研磨板 ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18
・ 化粧パーティクルボード		・ 単板オーバーレイ ・ 塗装 ・ プラスチックオーバーレイ ・ 10(磨紙) ・ 12(磨紙)
・ ハードボード(薪地)	HB	・ 研磨板 (・ スタンダード ・ テンパード)
・ ハードボード(化粧)		・ 内装用 ・ 外装用 ・ 2. 5 ・ 3. 5 ・ 5 ・ 7
・ インシュレーションボード	IB	A級 (・ 天井仕上 ・ 内装仕上) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18

せつこうボード等の下地は図示による
遮音シール材 ・ 適用する (・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド)
遮音シール材 ・ 適用しない
合板類の裏付け ※ B種
せつこうボードの目地工法 ・ A種
・ 仕上表による

11

壁紙張り

12

断熱材

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

28

手すり

29

ホワイトボード

30

煙突ライニング

31

ブラインド

32

ロールスクリーン

20

ユニット及びその他工事

21

フリーアクセスフロア

22

可動間仕切り

23

移動間仕切り

24

トイレブース

25

視覚障害者用床タイル

26

階段滑り止め

27

床目地線

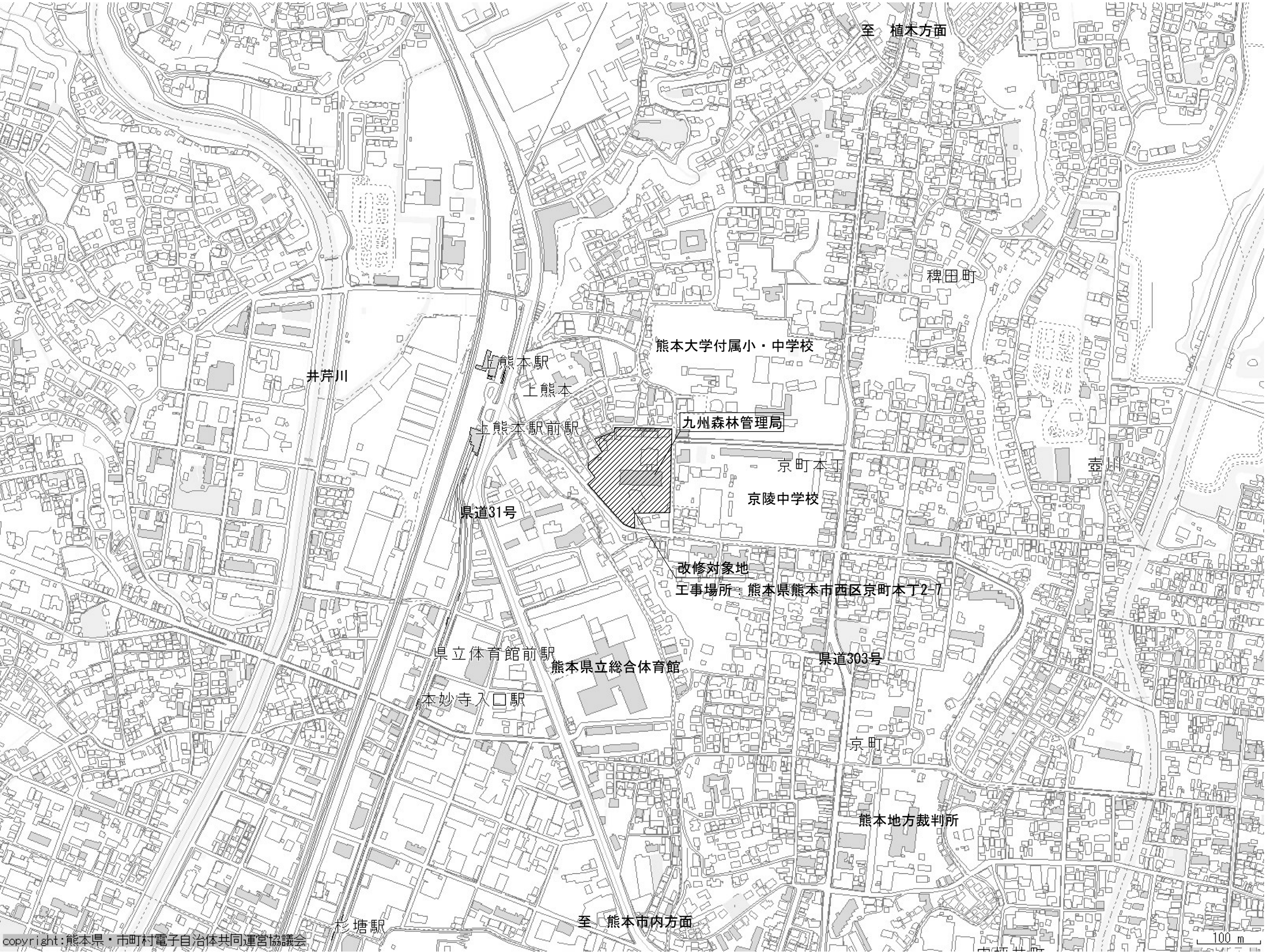
28

手すり

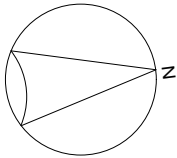
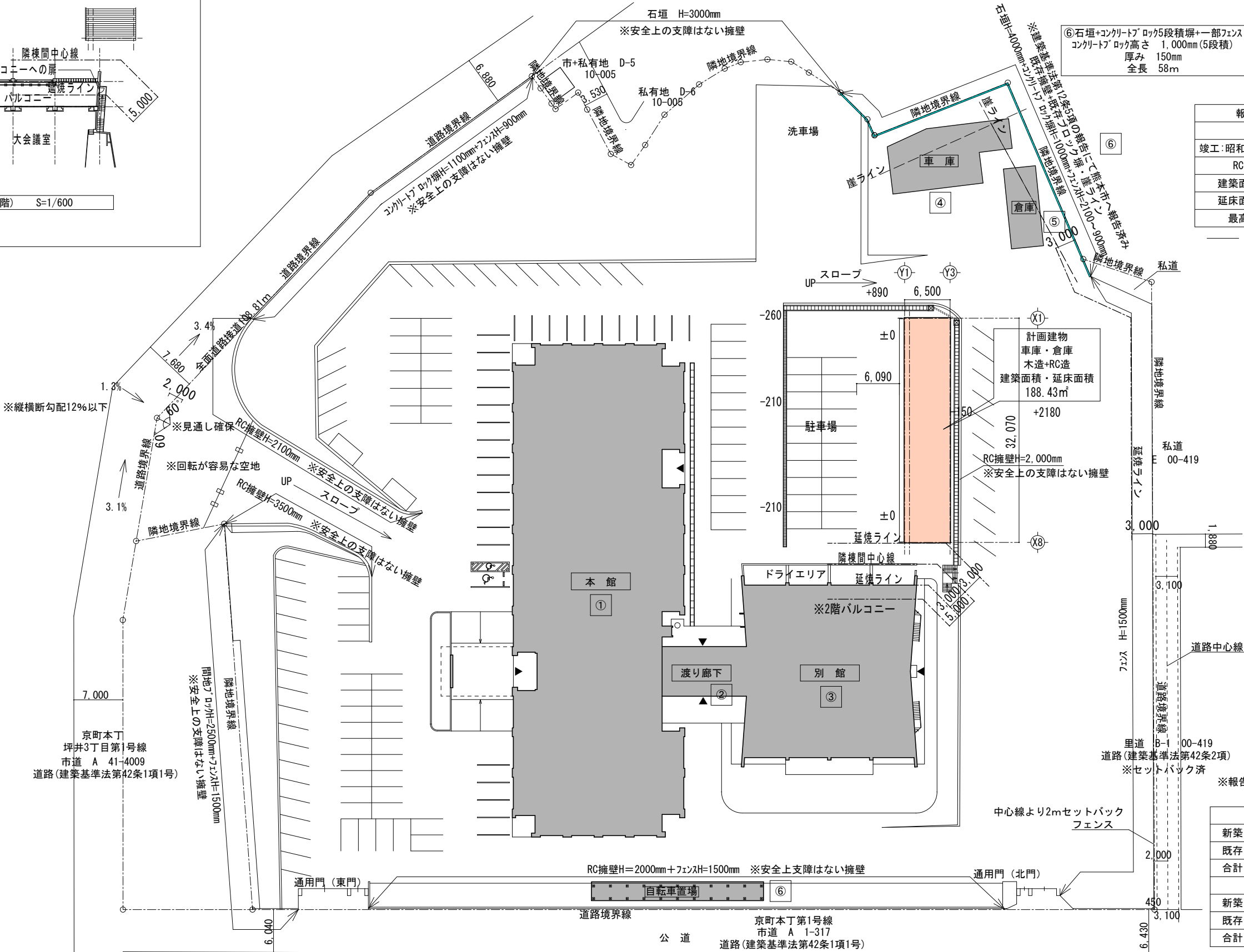
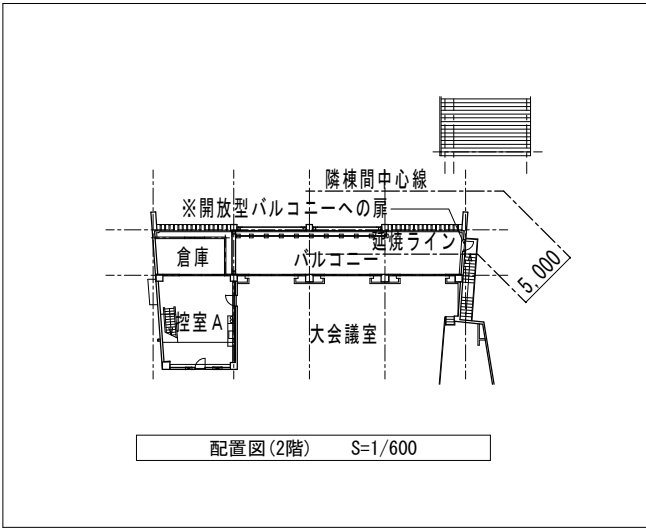
29

ホワイトボード

30



copyright:熊本県・市町村電子自治体共同運営協議会



報告建築物①	報告建築物②
本館	渡り廊下
竣工: 昭和41年5月 (確認不明)	竣工: 昭和41年5月 (確認不明)
RC造 6階建て	RC造 2階建て
建築面積: 1,158.43㎡	建築面積: 87.66㎡
延床面積: 6,037.67㎡	延床面積: 175.32㎡
最高高さ: 31.20m	最高高さ: 8.00m

報告建築物③
別館
竣工: 昭和41年5月 (確認不明)
RC造 地上3階・地下1階建て
建築面積: 583.50㎡
延床面積: 1,637.66㎡
最高高さ: 11.53m

報告建築物④	※車庫111.0㎡
車庫・倉庫	※倉庫20.25㎡
竣工：平成4年3月(確認不明)	
鉄骨造 1階建て	
建築面積:131.25㎡	
延床面積:131.25㎡	
最高高さ:4.7m	

報告建築物⑤
倉庫
鉄骨造 2階建て
竣工: 昭和58年12月 (確認不明)
建築面積: 48.81㎡
延床面積: 96.62㎡
最高高さ: 6.3m

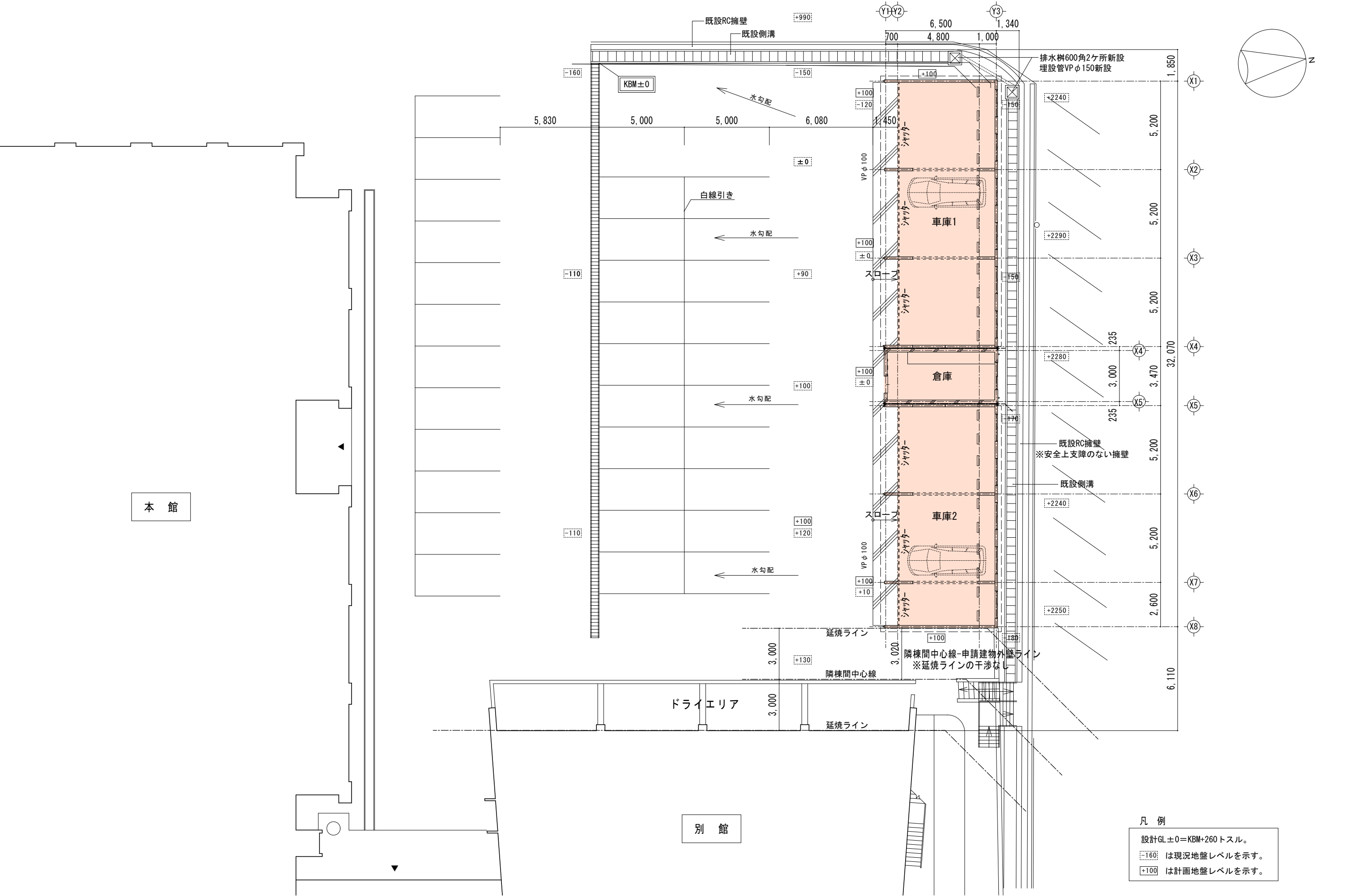
報告建築物⑥
自転車置場
鉄骨造 1階建て
竣工: 不明 (確認不明)
建築面積: 42.48㎡
延床面積: 42.48㎡
最高高さ: 2.5m

※報告建築物は、構造上・法適合性に支障はない

建築面積	
新築	188.43㎡
既存	①～⑥=2,052.13㎡
合計	2,240.56㎡
延床面積	
新築	188.43㎡
既存	①～⑥=8,121.00㎡
合計	8,309.43㎡

凡例

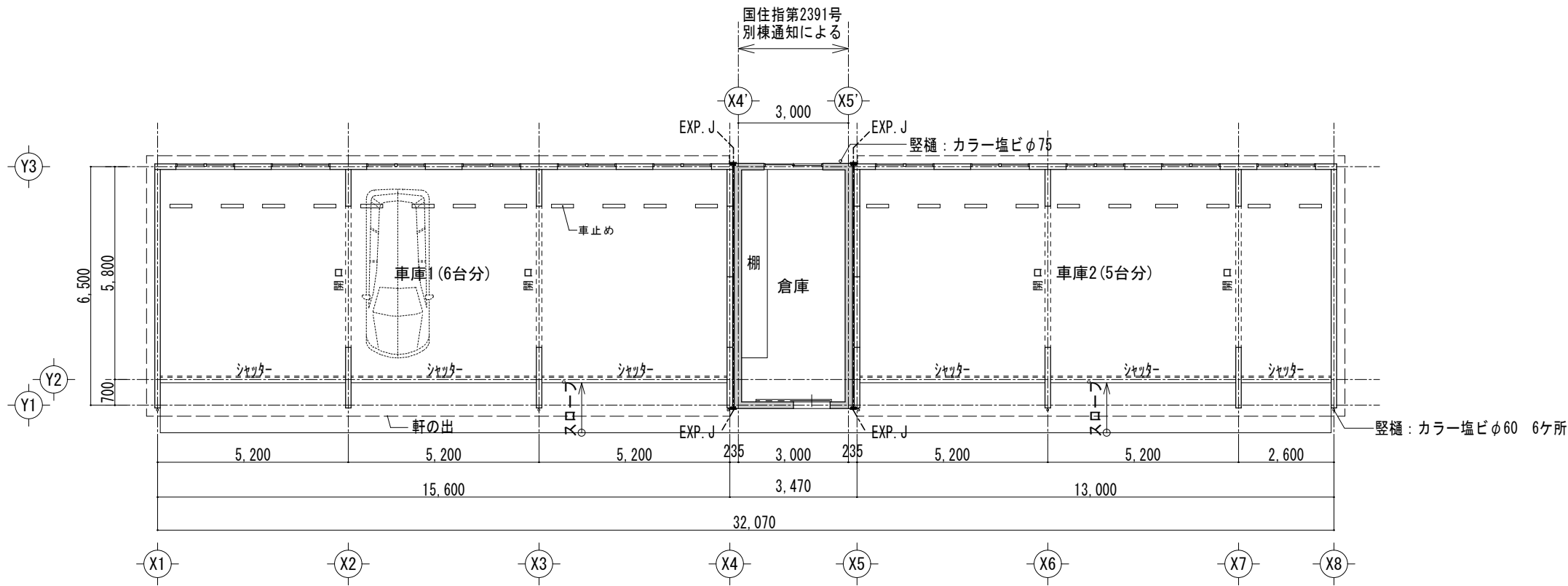
- 部分は既設建物の位置を示す。
- 部分は計画建物の位置を示す。
- ※今回の工事による敷地内造成は無し



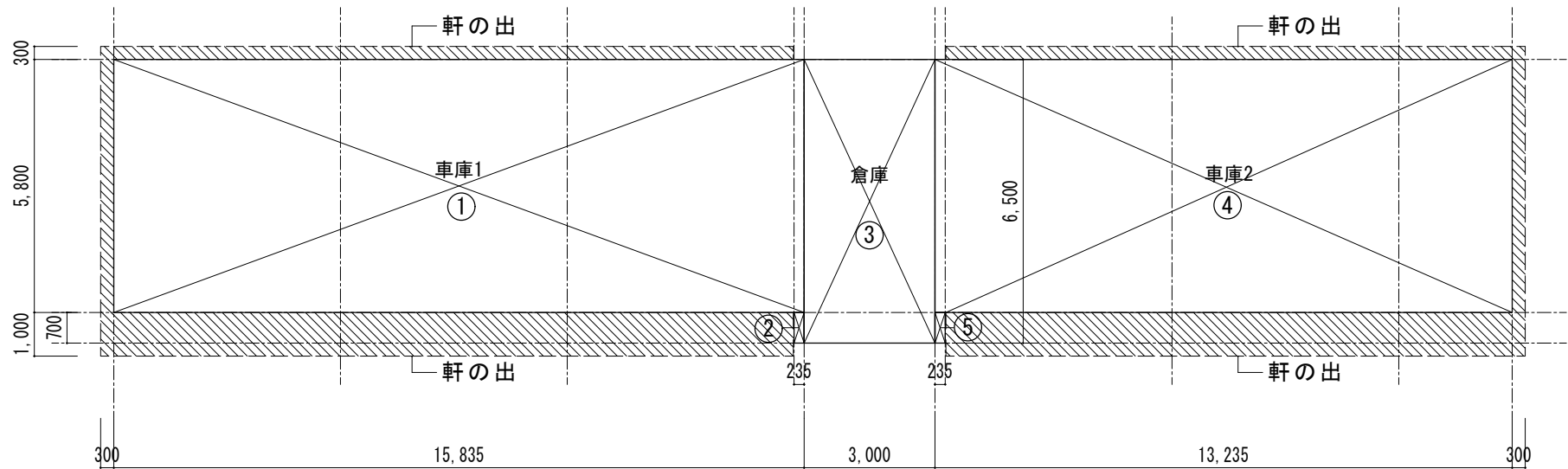
建築物概要		外部仕上表		特記事項
工 事 名	九州森林管理局車庫建築工事	屋 根	ガルバリウム鋼板 t = 0.4 芯木なし瓦棒葺き	1 工事に先立ち、敷地各点の距離、レベルを確認すること。
地名地番	熊本県熊本市西区京町本丁168番の一部		下地：垂木45×60@303+構造用合板t=12+ゴムアスルーフィングt=1.0	2 レベル決定は監督員の承諾を受けること。
住 所	熊本県熊本市西区京町本丁2-7			3 特記なき限り床仕上面をF Lとする。
用途地域	都市計画区域内 第二種住居専用地域	倉庫屋根	コンクリート金コテ押エの上 塩ビシート防水 t=1.2（非歩行用）アルミアングル押え	4 屋根工事その他仕上に使用する釘、ビス等は全てS U S 3 0 4とする。
防火地域	指定なし	軒 裏	CLT表し WP塗装	
その他の指定	法22条地域	外 壁	CLT表し WP塗装	
主要用途	自動車車庫（用途区分：08490）	倉庫外壁	コンクリート打放（B種）補修+カラークリア塗装	
道路・幅員	7.00m			
工事種別	増築	幕 板	ガルバリウム鋼板 t = 0.4	
棟 数	既存：5棟 増築：1棟	根 廻 り	コンクリート打放（B種）補修+複層塗材E塗装 化粧目地切@2,600内外	
最高の高さ	既存：00.00m 増築：4.293m	樋	カラー塩ビパイプφ60、（φ75）（掴み金物：SUS製@1,000以内）、カラー塩ビ角樋W110	
最高の軒高	既存：00.00m 増築：3.50m	ドレイン	鋳鉄製横引ドレインφ75用	
敷地面積	0,000.00㎡	建 具	アルミサッシ（カラー）、軽量スチール扉（片引きハンガータイプ）、軽量パランシッター焼付塗装	
建築面積	既存：0,000.00㎡ 増築：188.10㎡	パラベット	天端：コンクリート金コテ（B種）ウレタン塗膜防水	
延床面積	既存：0,000.00㎡ 増築：188.10㎡	サッシ廻り（外部）	4周木見切り25×60 WP塗装	
構造・階数	木造（CLT）+RC造 平屋	シャッター廻り（外部）	縦木見切り30×30 WP塗装	
建ぺい率	法定限度 60% < 00%	EXP. J廻り（外部）	縦木見切り35×90 WP塗装	
容 積 率	法定限度 200% < 00%	E X P . J	アルミ製 規格品 （クリアランス50タイプ） 屋根-外壁、外壁-外壁	
基 礎	直接基礎			

[illegible]

凡 例	区 分	符 号	名 称	符 号	名 称	区 分	符 号	名 称	符 号	名 称	符 号	名 称	区 分	名 称	区 分	名 称
	下地・仕上	LG B	軽量鉄骨下地	GB-R	石膏ボード	塗 装	SOP	合成樹脂調合ペイント	AE	アクリル樹脂エナメル	OS	オイルステイン	認定番号	杉羽目板(準不燃) UM-0236	認定番号	
		GB-S	コンクリートブロック	GB-S	シーリングせつこうボード		VE	塩化ビニル樹脂エナメル	FE	フタル酸樹脂エナメル	OSCL	オイルステインクリヤーラッカー		不燃木材専用塗料塗装 NW-0700		
		FK	けい酸カルシウム板(無石綿)	GB-D	化粧せつこうボード		EP	合成樹脂エマルションペイント	UE	ウレタン樹脂塗装	WP	木材保護塗料				
		RB	ロックウール吸音板	GB-F	強化せつこうボード		AEP	アクリル系エマルションペイント	ACL	アクリル樹脂系塗装	CE	複層仕上塗材(※アクリル系)				
				GB-RH	普通硬質せつこうボード		EP-G	艶有合成樹脂エマルションペイント	CL	クリヤラッカー	RE	複層仕上塗材(※ウレタン系)				



平面図 S=1 : 150

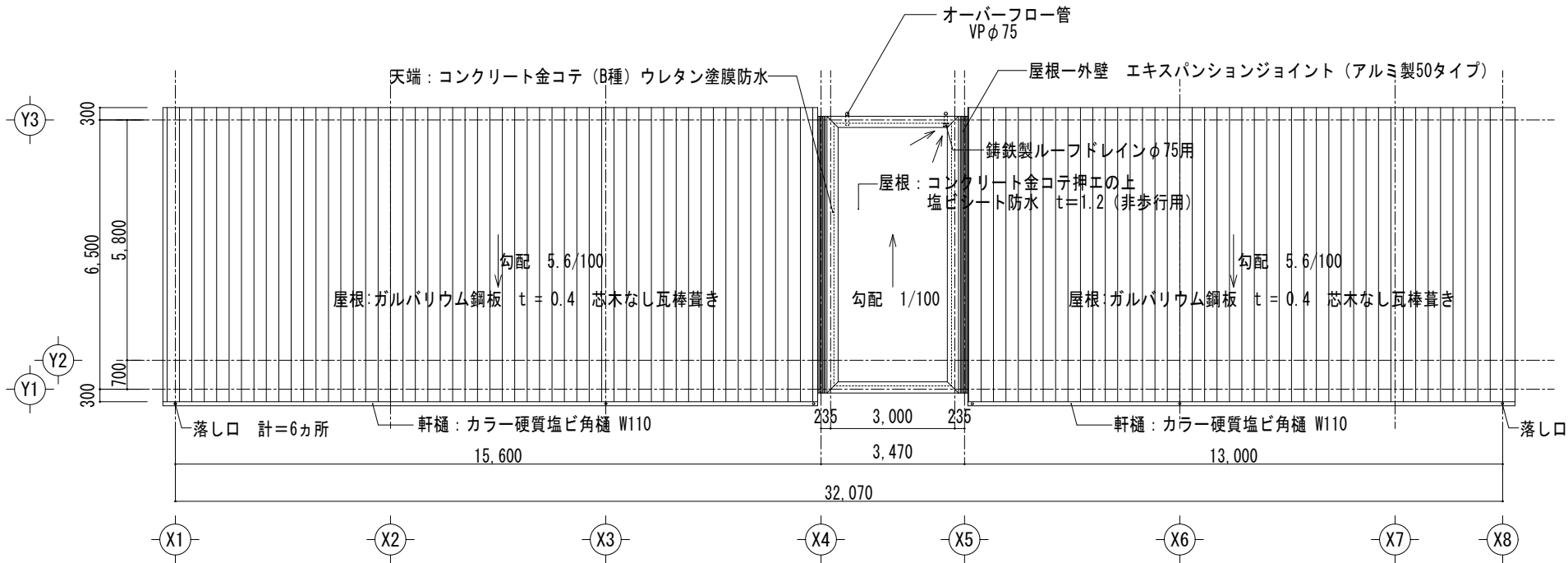


建物求積図 S=1 : 150

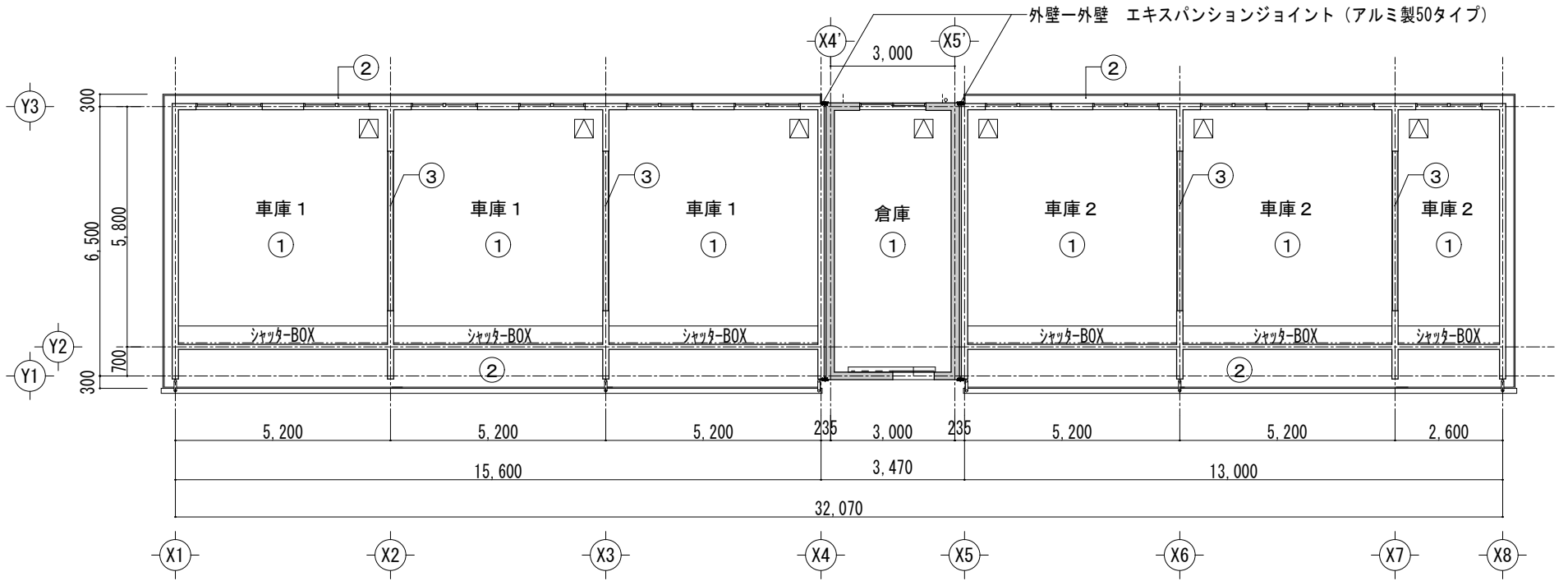
部分は建築面積の1M緩和部分を示す。

延床面積・建築面積			
①	15.835 × 5.800 =	91.843	92.0075
②	0.700 × 0.235 =	0.1645	
③	3.000 × 6.500 =	19.500	76.9275
④	13.235 × 5.800 =	76.763	
⑤	0.700 × 0.235 =	0.1645	
合計		188.435	
延床面積・建築面積		188.43m ²	

※建築基準法施行令116条の危険物の貯蔵は無い
※国住指第2391号(部分により構造を異する建築物
の棟の解釈について(通知)」による

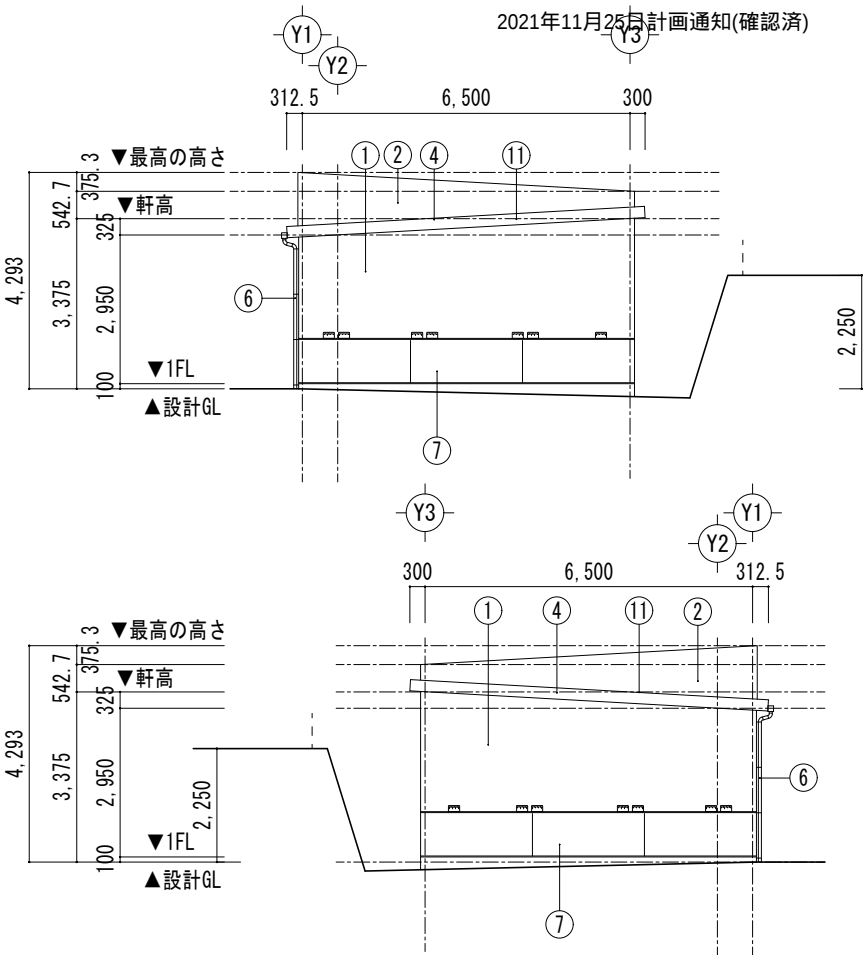
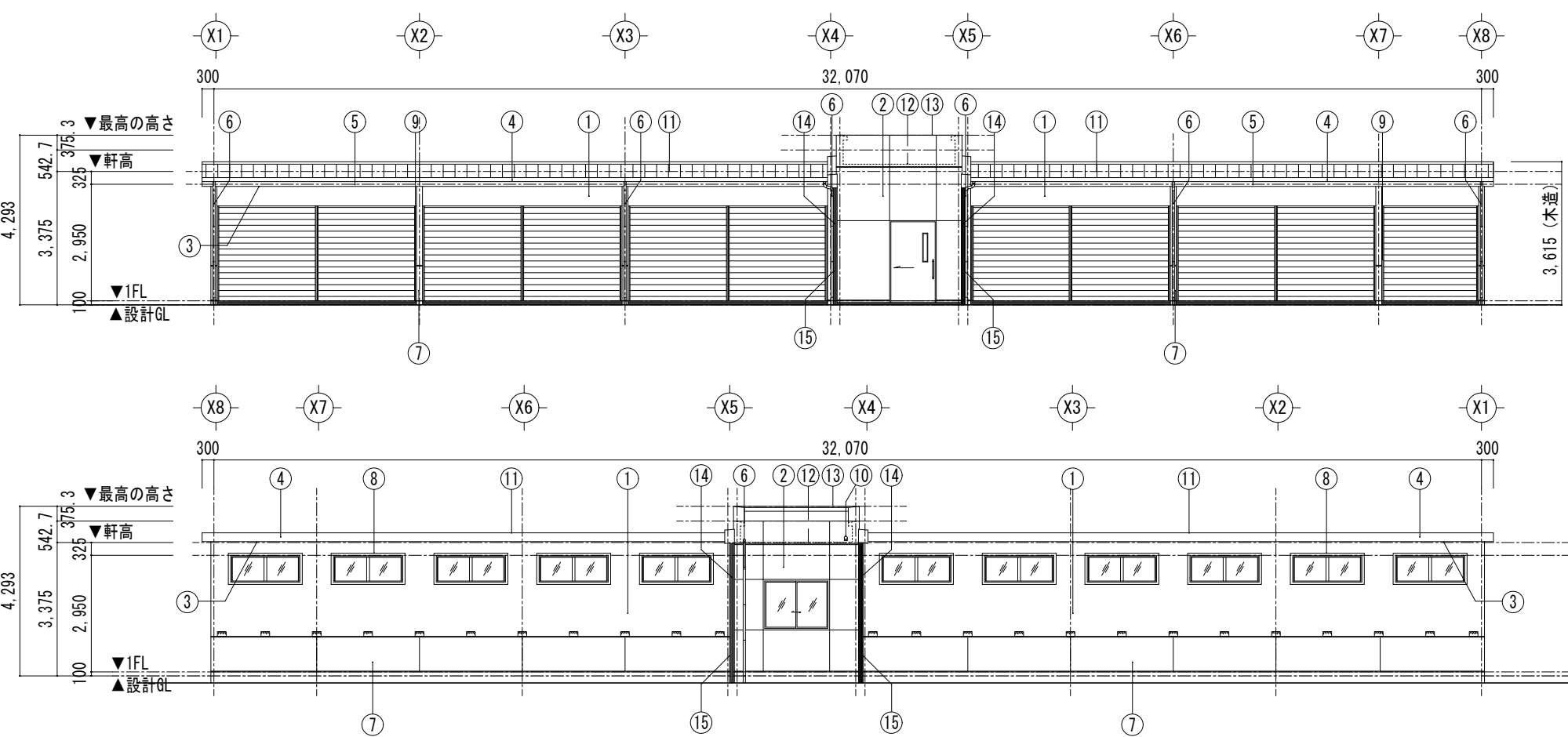


屋根伏図 S=1 : 150

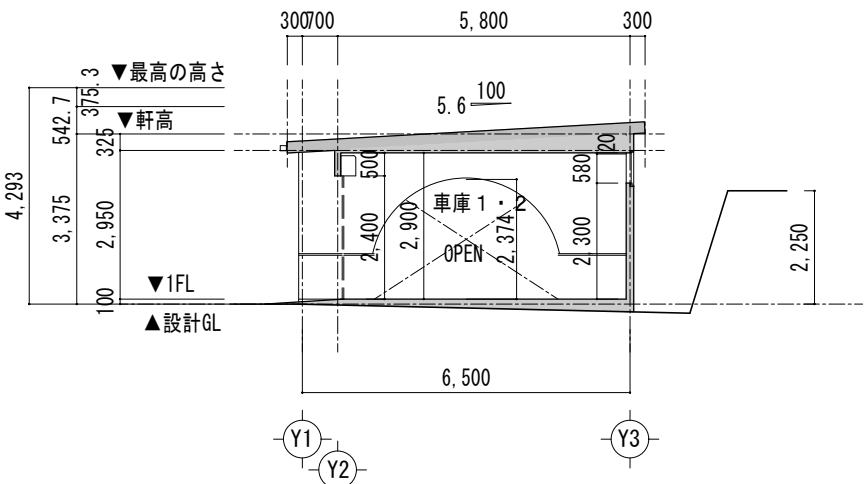
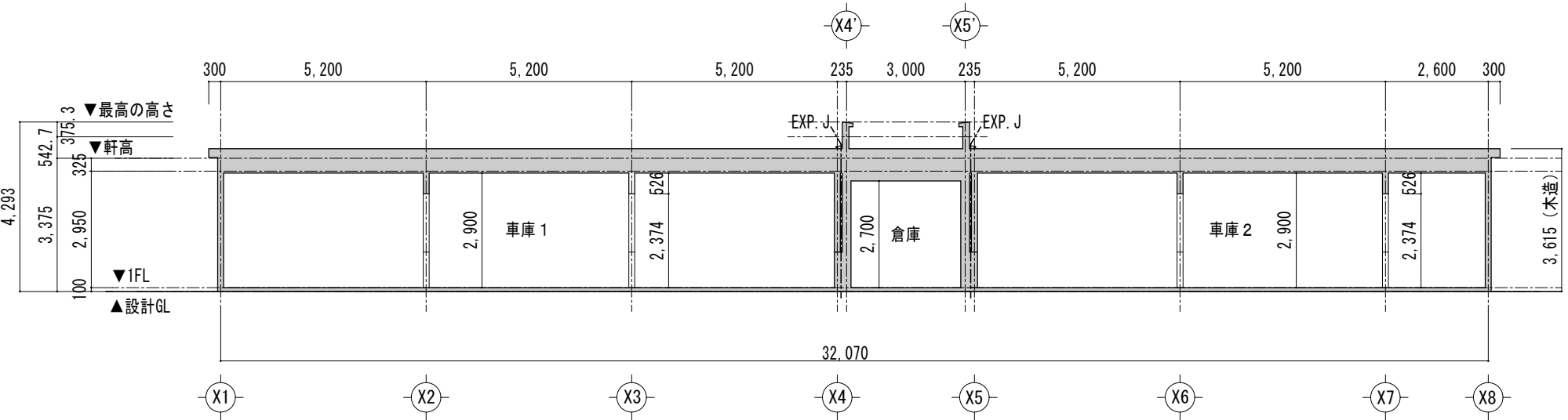
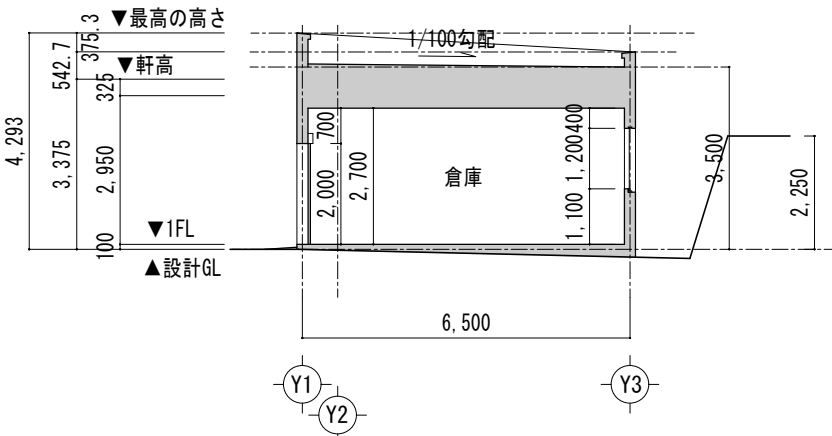


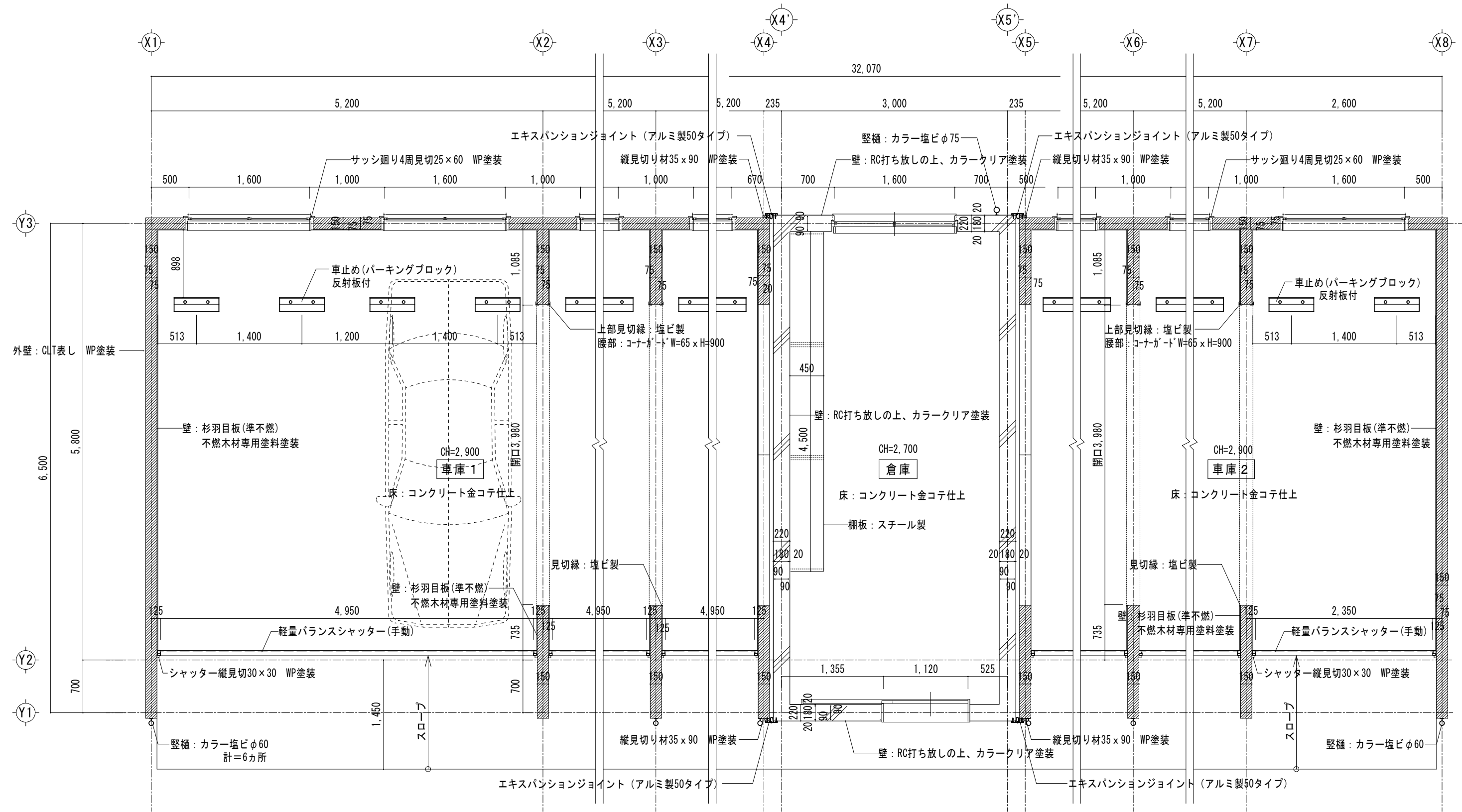
天井伏図 S=1 : 150

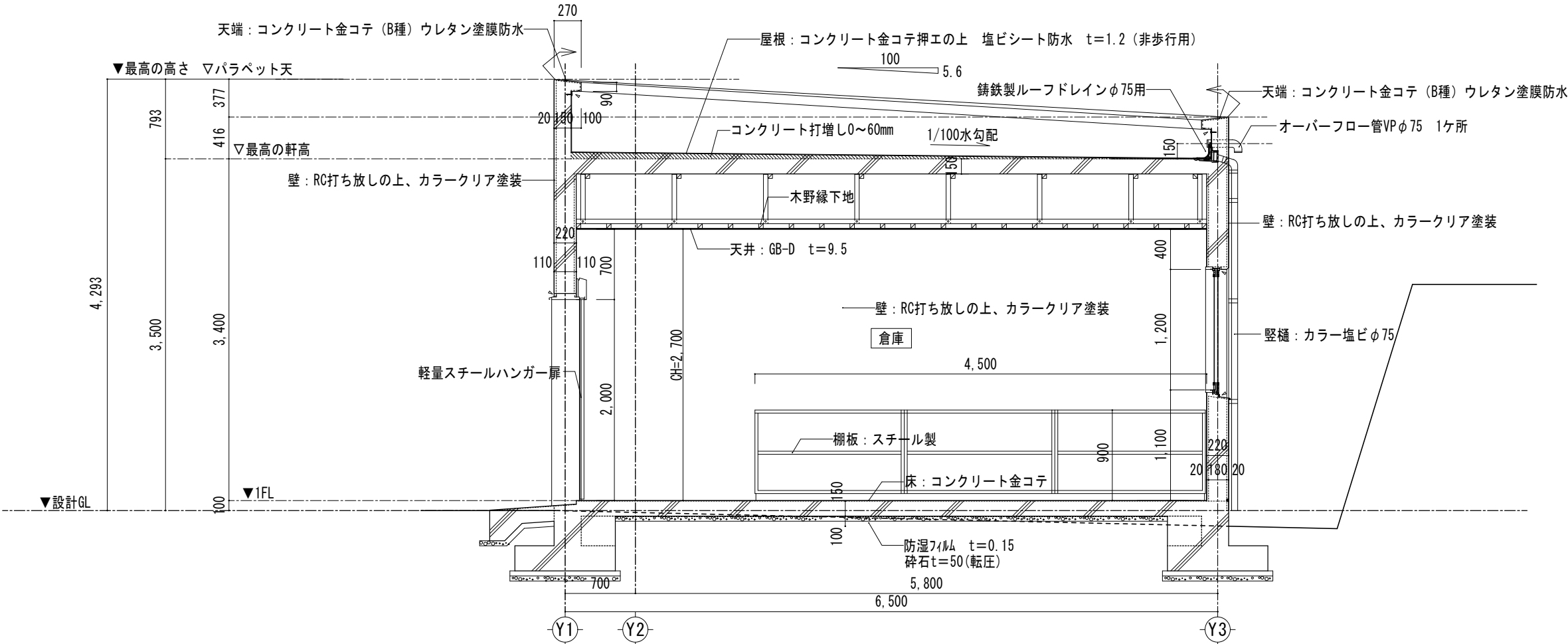
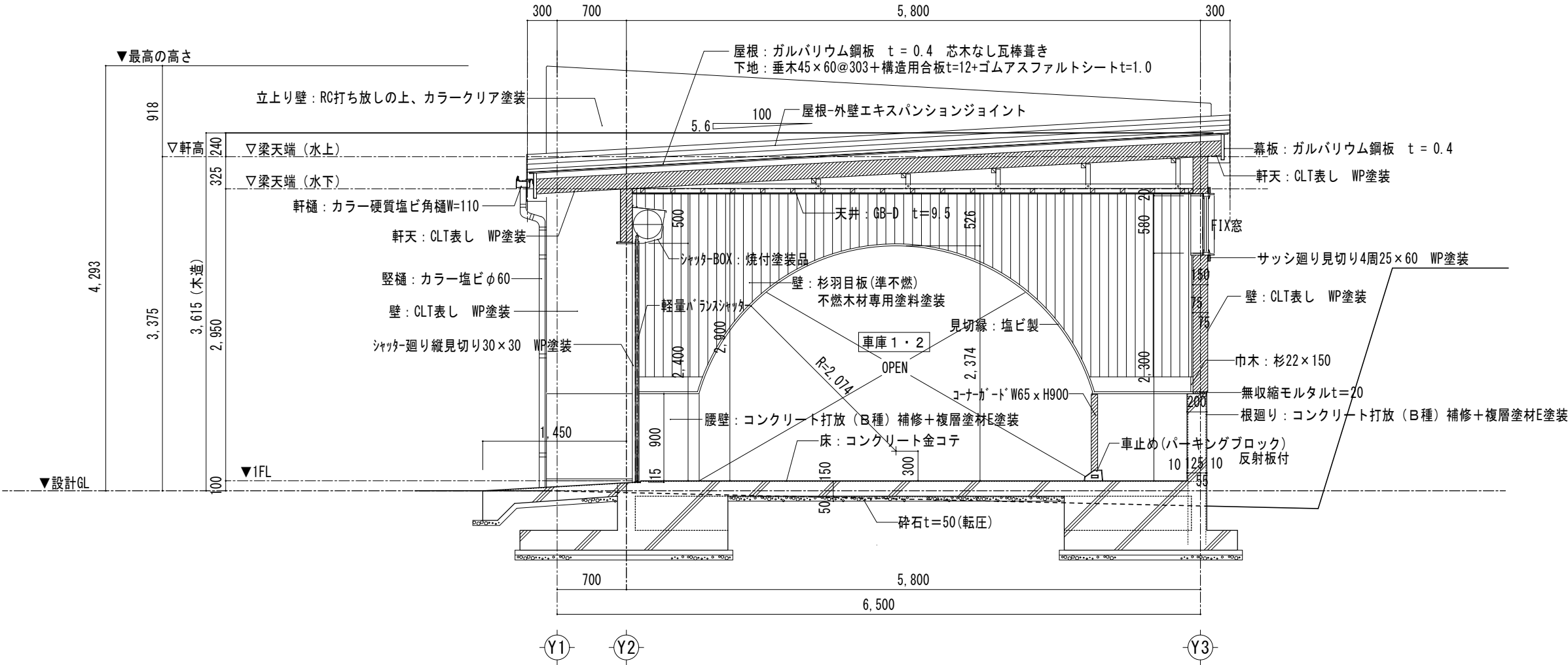
天井仕上表	
①	木野縁下地 GB-D t=9.5 塩ビ製廻り縁
②	軒天 : CLT表し WP塗装
③	下り壁 : CLT表し CL塗装
▽	天井点検口450角 アルミ製枠

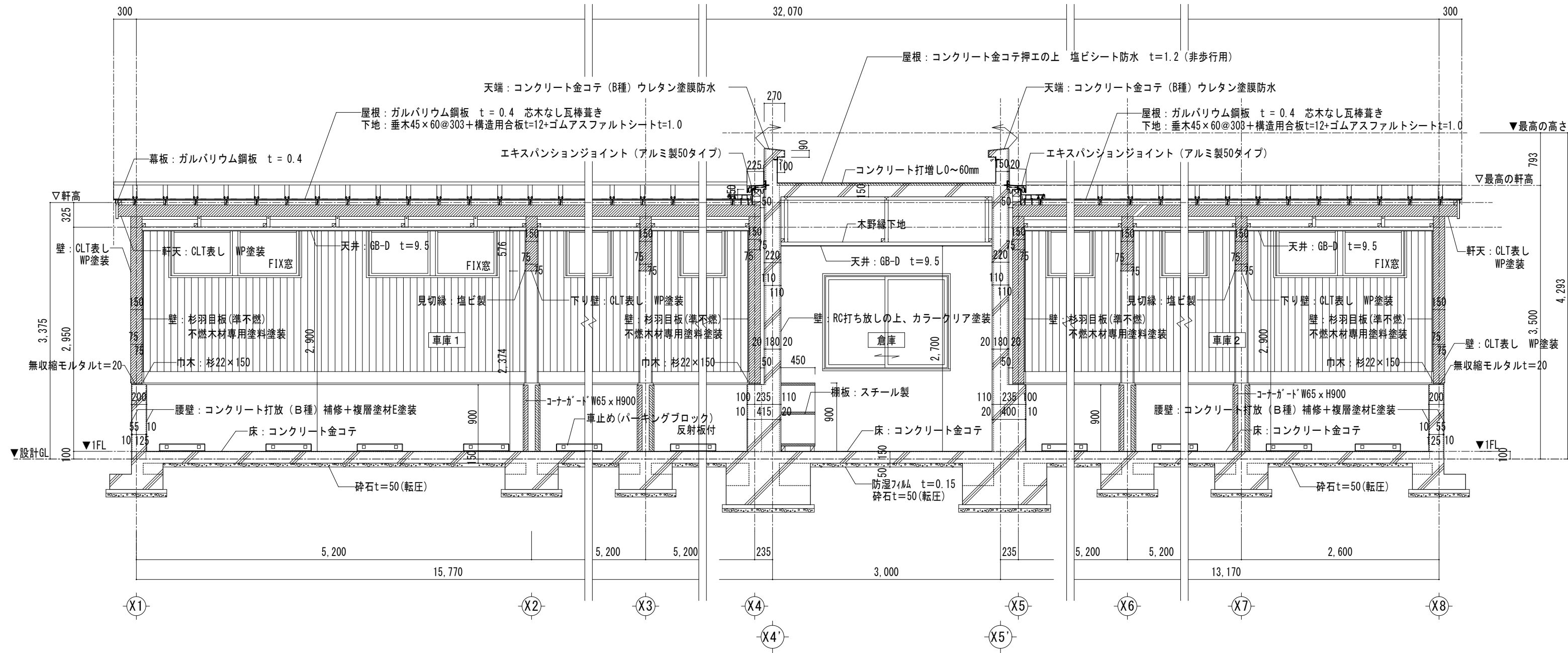


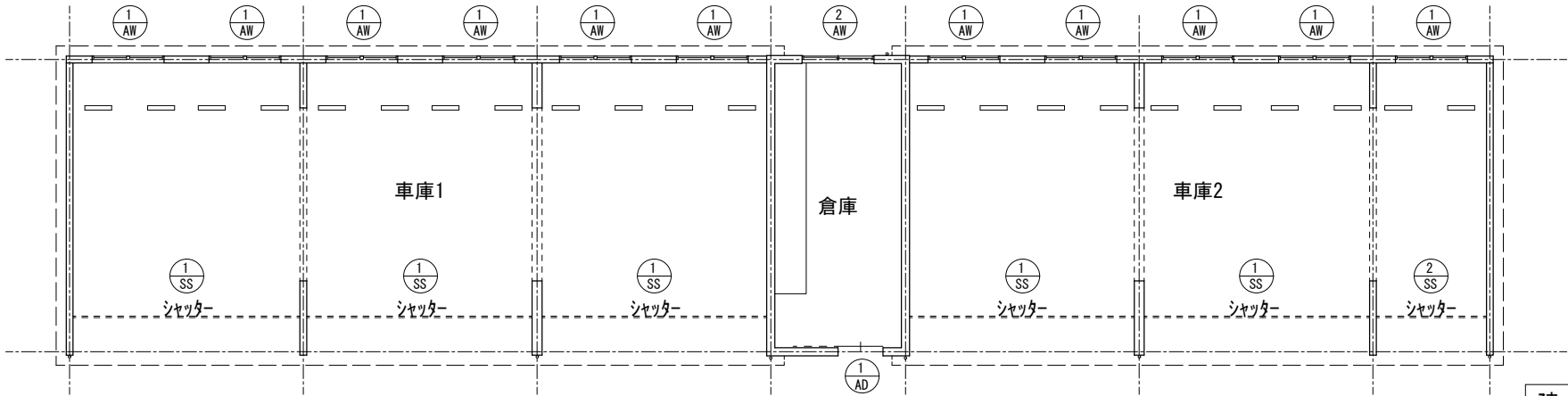
外部仕上表			
①	外壁：CLT表し WP塗装	⑨	シャッター縦見切：杉 30×30 WP塗装
②	外壁：RC打ち放しの上、カラークリア塗装	⑩	オーバーフロー管 塩ビVPφ75打込み
③	軒天：CLT表し WP塗装	⑪	屋根：ガルバリウム鋼板 t = 0.4 芯木なし瓦棒葺き
④	幕板：ガルバリウム鋼板 t = 0.4	⑫	屋根：塩ビシート防水 t=1.2（非歩行用）
⑤	軒樋：カラー硬質塩ビ W110	⑬	天端：コンクリート金コテ（B種）ウレタン塗膜防水
⑥	縦樋：カラー硬質塩ビパイプφ60（φ75）（掴み金物：SUS製@1,000以内）	⑭	エキスパンションジョイント：アルミ製50タイプ
⑦	根廻り：コンクリート打放（B種）補修+カラークリア塗装、化粧目地@2,600内外	⑮	エキスパンション縦見切：杉 90×35 WP塗装
⑧	サッシ廻り4周見切：杉 25×60 WP塗装		











建具キープラン S=1/150

符号		1 AW		車庫 1・2		2 AW		倉庫		1 AD		倉庫		1ヶ所					
姿図																			
名称	見込	2連FIX窓				見込 70		引違い窓				見込 70		ハンガー片引きドア		ドア見込 45			
仕上	硝子	アルミカラー				F-4		アルミカラー				F-4		アルミカラー		F-4			
枠	沓摺	アルミ				-		アルミ				-		アルミ		-			
金物		アングル 他標準金物一式				クレセント・戸車・引手・アングル 他標準金物一式				引き戸錠・シリンダー錠・SUS引手 他標準金物一式									
備考		木製額縁 WP塗装				木製額縁 WP塗装													

符号		1 SS		車庫 1・2		5ヶ所		2 SS		車庫 2		1ヶ所							
姿図																			
名称	見込	軽量バランスシャッター(手動)				見込 70		軽量バランスシャッター(手動)				見込 70							
仕上	硝子	スラット焼付塗装				-		スラット焼付塗装				-							
枠	沓摺	ステンレス (SUS304)				-		ステンレス (SUS304)				-							
金物		SUSガイドレール・SUSマグサ・シリンダー錠・シャッターBOX・SUS中柱 他標準金物一式				SUSガイドレール・SUSマグサ・シリンダー錠・シャッターBOX 他標準金物一式													
備考		木製縦見切材 WP塗装				木製縦見切材 WP塗装													

構造特記仕様書

・適用は口内に■印又はレ印を記入

・特記なき事項は、（一社）公共建築協会〔公共建築工事標準仕様書〕、日本建築学会〔鉄筋コンクリート造配筋指針〕、日本建築学会〔壁構造配筋指針〕による

1. 建物概要

(1)

工事名称九州森林管理局車庫

工事場所熊本市西区京町本丁2番7号

(2)

構造種別

☐鉄筋コンクリート造

☐鉄骨造

☐鉄骨鉄筋コンクリート造

☐補強コンクリートブロック造

☒壁式鉄筋コンクリート造

☒その他（木造）

(3)

階数・規模

地上1階

地下階

塔屋階

建築面積188.10㎡延べ面積188.10㎡

(4)

屋上付属物

☐高置水槽（kN）

☐広告塔（kN）

☐キュービクル（kN）

☐太陽光発電（kN/㎡）

(5)

工事種別

☒新築

☐増築

☐改築

☐用途変更

(6)

増築予定

☐有

☒無

(7)

特殊荷重

☐倉庫積載床

N/㎡

☐受水槽

kN

☐エレベーター

☐リフト

N

☐ホイス

kN

(8)

基礎形式

☐独立基礎

☒布基礎

☐ベタ基礎

(9)

構造計算ルート

・X方向

☒ルート1

☐ルート2ー

☐ルート3

・Y方向

☒ルート1

☐ルート2ー

☐ルート3

(10)

その他

2. 使用構造材料

(1)

コンクリート

※呼び強度は設計基準強度＋構造体強度補正值（S）とする。

種類	設計基準強度（N/mm2）	スラブ	混和剤（材）	使用区分
普通	Fc=21	18		基礎・躯体コンクリート
	Fc=			
	Fc=			
	Fc=			土間コンクリート
	Fc=18	18		
	Fc=18	15		
軽量	Fc=			捨コンクリート
	Fc=			

軽量コンクリート比重γ=

構造体強度補正值（S）普通ポルトランドセメント

打込みから材齢28日までの予想平均気温（℃）

・0℃～8℃未満 S=6N/mm2・8℃～25℃ S=3N/mm2

・25℃以上 S=6N/mm2（暑中コンクリート）

(2)

コンクリートブロック

・種類

☐A種

☐B種

☐C種

・厚さ

☐100

☐120

☐150

☐190

(3)

鉄筋

	材料	径	使用箇所
異形鉄筋	☒ SD295A	D10～D16	基礎・土間・壁・床・梁
	☐ SD345	D～D	
	☐ SD390	D～D	
	☐		
高強度せん断補強筋	☐	D～D	
溶接金網	☐		

(4)

鉄骨

材種	使用箇所	備考
☒ SS400	ベースプレート	一般構造用鋼板等
☐ SN400B		突合溶接使用部
☐ SN400C		ダイヤフラム部
☐ SN490C		
☒ STK400	柱	
☐ STKR400		
☐ BCP325		
☐ BCR295		
☐ SSC400		
☐		
☐		

(5)

ボルト類（特記なき高力ボルト・アンカーボルトは、S10T・SS400規格品とする）

高力ボルト

☐普通高力ボルトF10T

☐特殊高力ボルトS10T

☐溶融亜鉛めっきボルトF8T

☐

アンカーボルト

☐SS400

☐ABR400

☐

メーカー仕様による

※特記なき場合はダブルナットとする

（径・長さおよび本数は特記による）

スタッドボルト

☐特記による

☐

（径・長さおよび本数は特記による）

デッキプレート

☐合成床

☐一般床

（形式は特記による）

(6)

地盤改良

☐有

☐有

☒無

(7)

地質調査資料

☒有

☒敷地内

☐近隣

☒ボーリング調査

☐平板載荷試験

☐水平地盤反力係数の測定

☐SWS

☐無

☐調査予定有

☐調査予定無

(8)

直接基礎

・深さGLー0.6m

・支持層

・長期許容地耐力度50kN/㎡

・地盤改良

☐有

☐有

☒無

(3)

杭基礎

☐別紙図面内特記による。

杭種	材料	施工法
☐ 既製杭	☐PHC ☐節付PHC ☐	☐打ち込み ☐中掘り ☐埋込み（セメントミルク工法） ☐埋込み（認定工法）
	☐鋼杭	☐工法
☐ 場所打杭	杭長 杭材種	上杭（m） ☐A ☐B ☐C 中杭（m） ☐A ☐B ☐C 下杭（m） ☐A ☐B ☐C ☐
		上杭（m） ☐ 中杭（m） ☐ 下杭（m） ☐ ☐オールケーシング ☐拡底 ☐アースドリル ☐ミニアース ☐BH ☐深礎 ☐

杭仕様

・施工計画書承諾（☐有☐無）

・施工結果報告書（☐有☐無）

杭径（mm）	長期支持力（kN）	本	備考

4. 鉄筋コンクリート工事

(1)

コンクリート

a)

コンクリートはJIS認定工場の製品とし、施工に関してはJASS5による。

b)

セメントはJIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。

c)

調査計画は、工事開始前に工事監理者の承諾を得ること。

d)

生コン業者の設備、資格、ミキサー車の運転時間の確認を行う。

e)

寒中、暑中コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法について、工事監理者の承諾を得ること。

f)

強度試験供試体は、コンクリート150㎜3毎及びその増数につき1回以上とする。
採取方法は、適切な間隔をあげた運搬車から3度に分けて試料を採取する。
供試体の本数は、調査管理用3本、28日推定用3本、その他必要に応じて供試体を作成する。
供試体採取と合わせて、スラブ・空気量・塩化物量検査を行なう。

g)

供試体の養生は、調査管理用として標準養生、構造体のコンクリート強度28日推定用及び脱型時期用として現場水中養生とする。

(2)

鉄筋

a)

鉄筋はJIS G3112の規格品とする。

b)

D19未満は、全て重ね継手とする。継手（D19以上）をガス圧接とする場合は下記による。
日本圧接協会〔鉄筋のガス圧接工事標準仕様書〕

c)

ガス圧接部の超音波探傷試験は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごとに1回行い、1回の試験は30本とする。

(3)

型枠

a)

材料合版厚12mmを標準とする。

b)

型枠最小存置期間

セメントの種類	せき板		支柱			
	基礎、梁側、柱、壁		スラブ下		梁下	
	早強	普通	早強	普通	早強	普通
材令日	15℃以上	2	3	5	8	17
	5℃以上	3	5	7	12	28
	0℃以上	5	8	10	15	28
コンクリートの圧縮強度		5N/mm2			設計基準強度の85%以上又は12N/mm2以上で安全である事が確認されるまで。	
					100%	

注）1.

片持ち梁、庇、スパン9.0m以上の梁下は、工事監理者の指示による。

注）2.

大梁の支柱の盛り替えは行わない。また、その他の梁の場合も、盛り替えは原則として行わない。

注）3.

支柱の盛り替えは、必ず直上階のコンクリート打設とする。

注）4.

盛り替え後の支柱頭部には、厚い受板、角材またはこれに代わるものを置く。

注）5.

支柱の盛り替えは、小梁が終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って盛り替えをしてはならない。

注）6.

直上階に著しく大きい積載荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛り替えを行わないこと。

注）7.

支柱の盛り替えは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらす恐れのある振動又は衝撃を与えない様に行う事。

5. 鉄骨工事

(1)

工事監理者の承諾を必要とするもの

☒製作工場

☒製作要領書

☐工作図

☐施工計画書

☐認定または登録工場（大臣認定・QH・MR・RJグレード）

☒材料規格証明書または試験成績書

☒鋼材

☒高力ボルト

☐特殊ボルト

☒頭付スタッド

☐社内検査表

☐

☐

☐

(2)

工事監理者が行なう検査項目

（口印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）

☐現状検査

☐組立・開先検査

☐製品検査

☒建方検査

☐

☐

(3)

溶接部の検査（完全溶込み溶接部の超音波探傷試験）

工場溶接の場合

社内

☐全数検査

☐AQL 2.5%

☒第6水準

☐AQL 4.0%

現場溶接の場合

社内

☒全数検査

☒全数検査

☐

(4)

防錆塗料

a)

防錆塗料の範囲は、高力ボルト接合部の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
錆止めペイントは、4つ星2回塗とする。

☒JIS K5674 1種

☐JIS K5674 2種

b)

現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調査は入念に行ない、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗とする。

6. 設備関係

(1)

特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。設ける場合は設計者の承諾を得ること。

(2)

設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承諾を得ること。

(3)

床スラブ内に設備配管を埋め込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし、管の間隔を5cm以上とする。

令第129条の2の4の事項

※設計が該当する場合には、口々にチェックを記入する。

・建築物に設ける建築設備にあつては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。

☒建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。

☐屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の耐力上主要な部分に緊結すること。

☐煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。

☐煙突の屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とし鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。

☒建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、

☒風圧、土圧及び水圧並びに地震及びその他の震動及び衝撃に対して安全上支障がない構造とすること。

☒建築物の部分貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。

☒管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可換継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。

☒管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。

☐法第20条第1項から第3項までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあつては、H12年告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

☒満水時の質量が15kgを超える給湯設備の取付についてはH12告示第1388号第5項による。

7. その他

☒各試験及び検査は、事前に工事監理者に連絡すること。

☐各試験の供試体は、公的機関にて試験を行い、工事監理者に報告すること。

☐3階以上、1500㎡を超える建築物は工事監理者と協力し、施工計画報告書、施工結果報告書を作成し、提出すること。

九州森林管理局車庫建築設計

構造設計事務所

〒862-0933 熊本市東区小室2丁目1-47
TEL 096-295-2553/FAX 096-221-5845
一級建築士事務所 熊本県知事登録 第3577号
一級建築士 第335193号

代表取締役 東 誠一

Scale

S= (A3)

No.

S-01

Scale

出力 2020/4/30
更新 2020/4/6 16:53:25

構造特記仕様書

鉄筋コンクリート造（壁式構造）－ 1

日本建築学会「壁構造配筋指針」及び「公共建築工事標準仕様書」に準ずる。

1. 一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図面に優先して適用する。
(2) 記号
d…異形鉄筋の呼名に用いた数値
r…半径
STP…あばら筋
HOOP…帯筋
D…部材の成
φ…部材間の内法寸法
ho…部材間の内法高さ

φ…直径
@…間隔
ho…部材間の内法高さ

2. 鉄筋加工・かぶり

(1) 鉄筋末端部の折り曲げの形状

折り曲げ角度	180°	135°	90°
形状			
鉄筋の余長	4 d 以上	6 d 以上 (※ 4 d 以上)	8 d 以上 (※ 4 d 以上)

1. ※印は片持ちスラブ上端筋の先端を示す。
2. 鉄筋は、SD295A・SD345を使用する。
3. 折り曲げ内法寸法Rは、D16以下は3 d以上・D19以上は4 d以上とする。
4. 径がD13以下であって、端部の折曲げ内部にD13以上の直交筋がある場合には、折曲げ内の直径を2 dとしてもよい。

(2) 鉄筋中間部の折り曲げの形状

折曲角度	形状	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法寸法
90°以下		帯筋 あばら筋 壁梁の縦・横筋	SD295A SD345	D16以下	3 d 以上
				D19以上	4 d 以上
	上記以外の鉄筋	D16以下		4 d 以上	
		D19～D25		6 d 以上	

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	設計基準強度 (N/mm ²)	鉄筋の定着及び 重ね継手の長さ (L ₁)	定着の長さ	
			一般 (L ₂)	下端筋 (L ₃)
SD345 SD295A	18	45 d または 35 d フックつき	40 d または 30 d フックつき	25 d または 15 d フックつき
	21・24	40 d または 30 d フックつき	35 d または 25 d フックつき	150 mm 以上

1. 末端のフックは、定着及び重ね継手の長さに含まない。
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする。
4. 継手は1ヵ所に集中することなく、相互にずらして設けることを原則とする。
5. L₃: 基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁を除く。
6. 梁内は継手を設けない。

隣接する梁主筋の重ね継手のずらし方

(4) 鉄筋のかぶり厚さ (単位: mm)

構造部分	最小かぶり厚さ	設計かぶり厚さ
屋根スラブ、床スラブ、片持ちスラブ [※] 、非耐力壁	20	30
耐力壁、壁梁、小梁、片持ち梁	30	40
土に接する耐力壁・床スラブ、布基礎の立上り部分、基礎梁、基礎つなぎ梁	40	50
基礎 (捨てコンクリートを除く)	60	70

(注) 1. ※ 耐久性上有効な仕上がりがない場合は、屋内・屋外にかかわらず10 mm増しとする。
2. ※※ 片持ちスラブ先端は、最小かぶり30 mmとする。
3. ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり厚さが部分的に減少する箇所は、防錆鉄筋を用いるか、あるいは目地部にシーリング材などを用いて、防錆処置を講ずる。
4. スラブ下端かぶり厚は30 mmとする。

(5) 鉄筋の間隔とあき

異形鉄筋	鉄筋の間隔・あきの最小寸法		R: 鉄筋の最外径
	形状	間隔	
		・呼名の数値の1.5倍・最外径 ・粗骨材最大寸法の1.25倍・最外径 ・25 mm・最外径 のうち大きいほうの数値	・呼名の数値の1.5倍 ・粗骨材最大寸法の1.25倍 ・25 mm のうち大きいほうの数値

(6) 鉄筋のフック

(a) ～ (b) に示す鉄筋の末端部にはフックをつける
(a) 梁 (基礎梁除く) の出隅部分の主筋
(b) あばら筋、帯筋

3. 杭

※ 地震力などの水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。

(1) PC杭・PHC杭の全てに補強を行う

所定の位置に止まった場合		所定より低く止まった場合	

※ 打込み終了後、杭頭の水平方向の芯ずれについては監理者の指示による

4. 基礎

(1) 布基礎交差部の配筋 (平面)

L形交差部

(注) 1. 原則として基礎梁下端主筋・ベース筋・配力筋及び、交差部ベース筋を配置する。また、特殊な場合には、はかま筋を配置する。
2. ベース筋の間隔は原則として20 cm以下とし、配力筋の間隔は30 cm程度とする。

T形交差部

10形交差部

(2) 杭基礎

フック付き

フック無し

(3) ベタ基礎

a. 耐圧版配筋図

b. 地中梁 (べた基礎) 配筋

5. 耐力壁

(1) 縦筋・曲げ補強筋・縦補強筋の定着とスラブの定着

縦筋および曲げ補強筋の下端は、布基礎または下階の耐力壁に定着する。上端は、最上階および直上に耐力壁のない場合は、スラブ内に定着する。片側スラブの場合は180°フックを付け壁梁主筋またはスラブ交差部横補強筋にかぎ掛けてよい。

(2) 耐力壁の縦筋・横筋の配置 (右図: 端部詳細図)

(4) 上・下階耐力壁の各種配筋

壁式構造仕様書－1

SD A WORKS 代表取締役 東 誠一
〒862-0933 熊本県東区小室2丁目1-47
TEL 096-295-2553/FAX 096-221-5845
一級建築士事務所 熊本県知事登録 第3577号
一級建築士 第335193号

Project 九州森林管理局車庫建築設計

ライト設計

一級建築士事務所 知事登録第 1625号
一級建築士 大臣登録第 339105号
管理建築士 佐藤健太郎

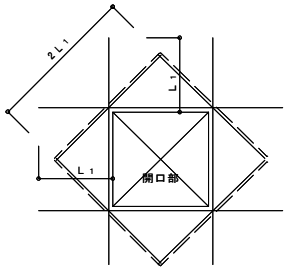
壁式構造仕様書－1

Scale S= (A3)
Date 出力: 2020/3/6 更新: 2020/3/6 18:23:04
No. S-02

鉄筋コンクリート造（壁式構造）－ 2

日本建築学会「壁構造配筋指針」及び「公共建築工事標準仕様書」に準ずる。

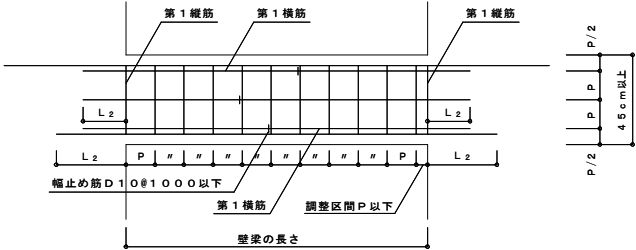
(5) 斜開口補強



6. 壁梁

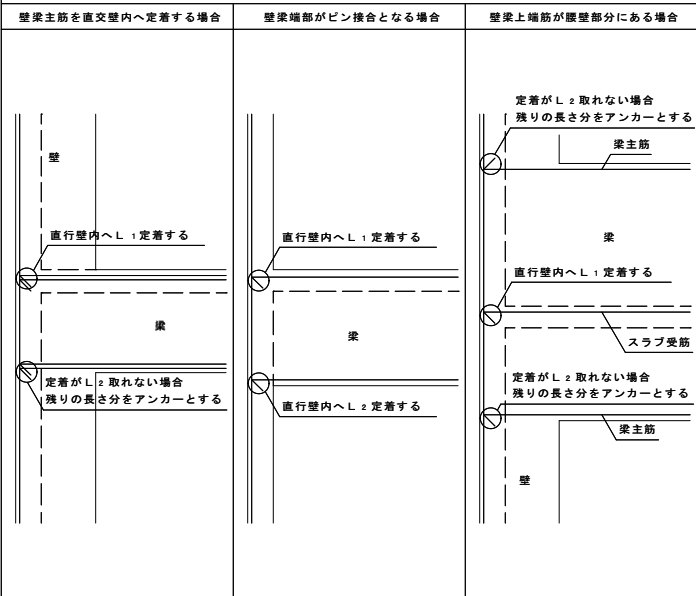
(1) 壁梁の標準配筋図・壁梁の範囲

- (a) 壁梁の主筋の重ね継ぎ手は、原則として梁の中間部には設けないものとする。
(b) 上端筋は通し筋配筋とする。

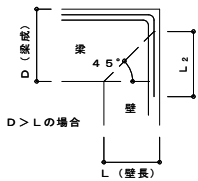


(2) 壁梁の端部定着

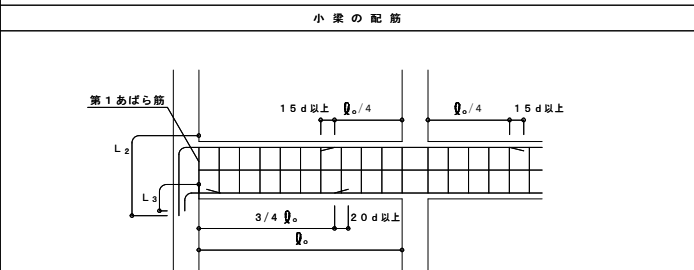
(a) 壁梁主筋



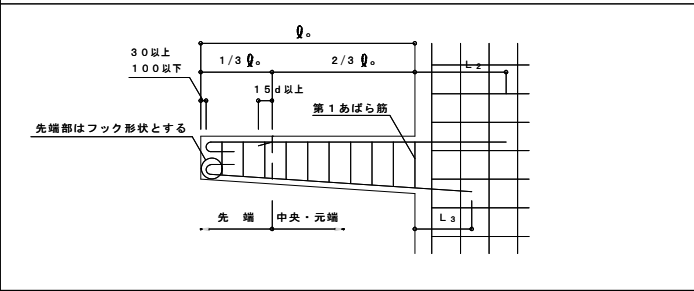
(b) 最上階壁梁定着長さ



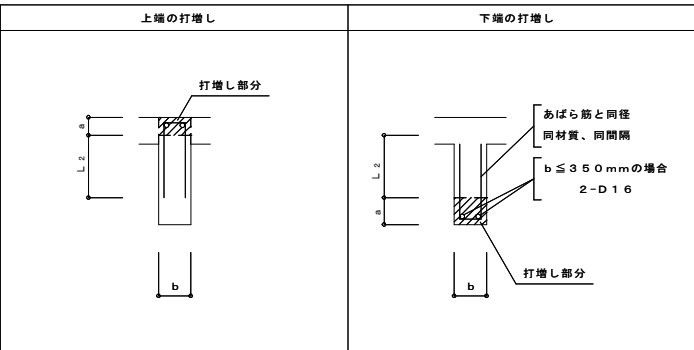
(c) 小梁の定着・継手位置およびトップ筋長さ



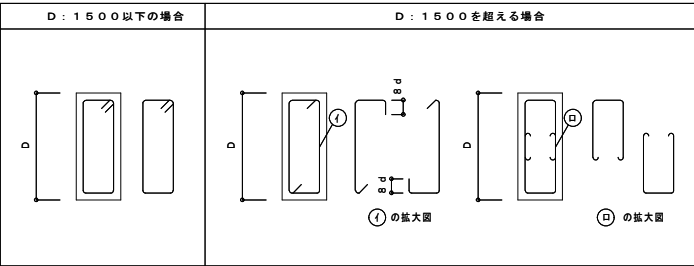
(d) 片持ち梁の配筋



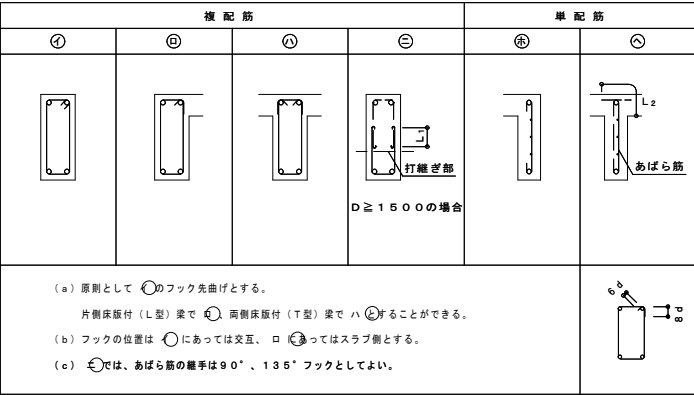
(3) 一般階の打増し補強 ※ a > 150 以下



(4) 基礎あばら筋の型

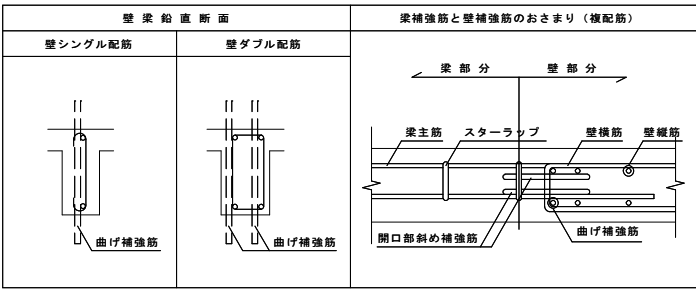


(5) 一般階あばら筋の型



(4) 壁梁と壁のおさまり

壁梁の幅は耐力壁の厚さ以上とする



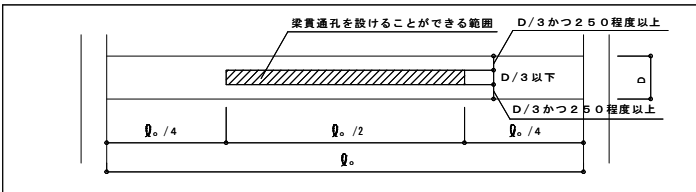
7. 梁貫通孔補強

(1) 既製品 (使用する時には、設計者又は工事管理者と打合せのこと)

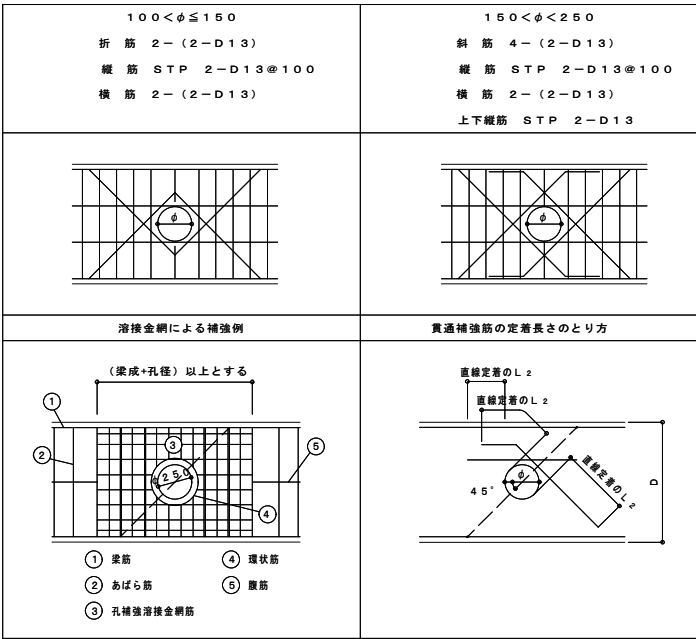
リング型 □パイプ型 □金網型 □プレート型 □

(2) 梁貫通孔を設けることができる範囲

梁端部は避ける



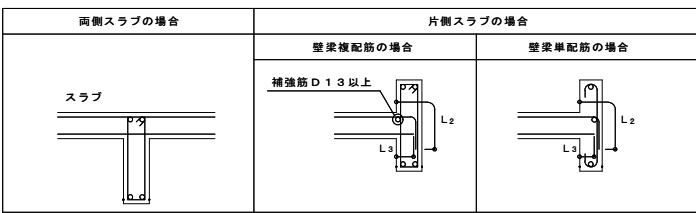
(3) 鉄筋標準配筋 但し、φ ≤ D/3 とする。



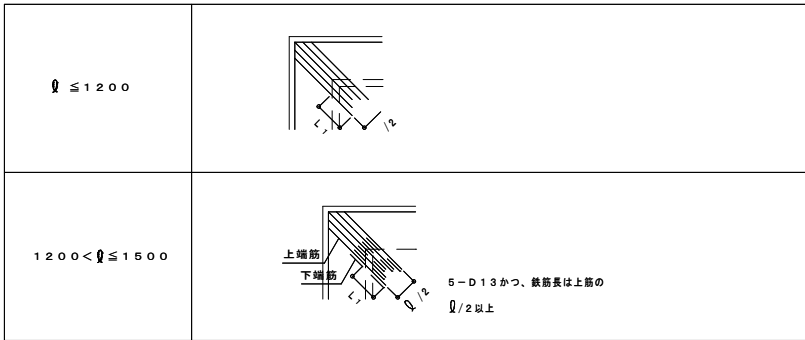
8. 床・屋根スラブ、片持ちスラブ

(1) 壁梁と床・屋根スラブ

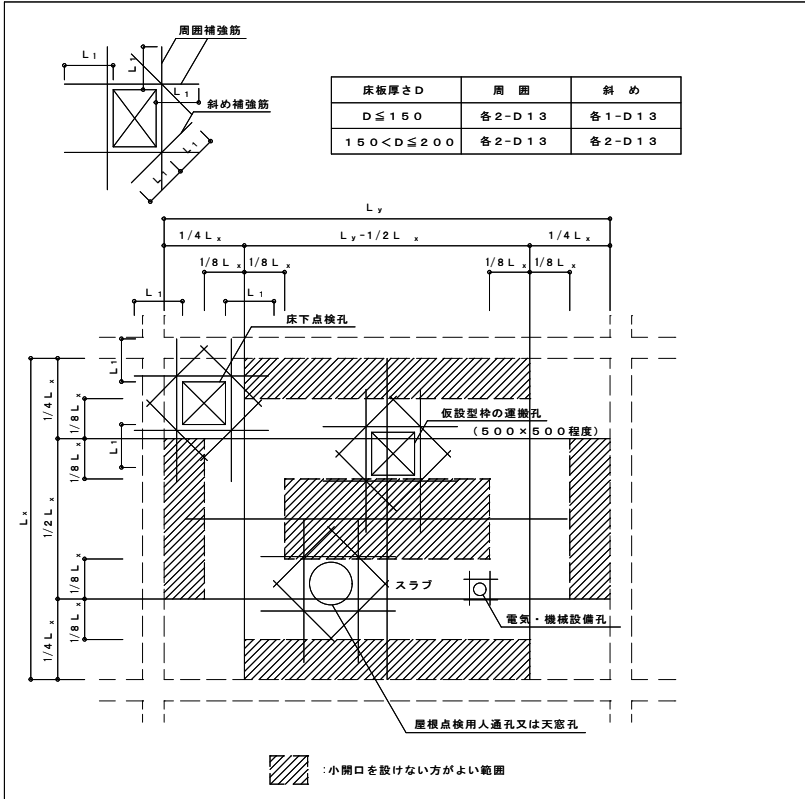
壁梁とスラブの接合部の配筋



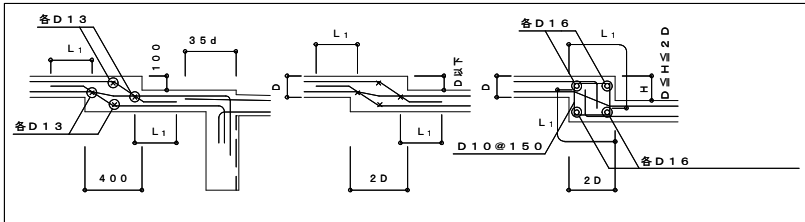
(2) 片持ちスラブ出隅部補強



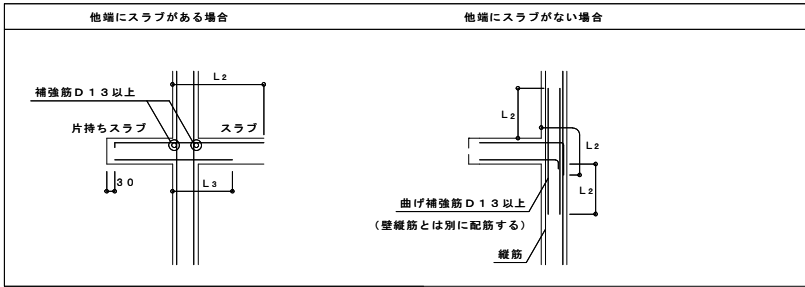
(3) 床版開口部の補強と範囲



(4) 床版段差の補強

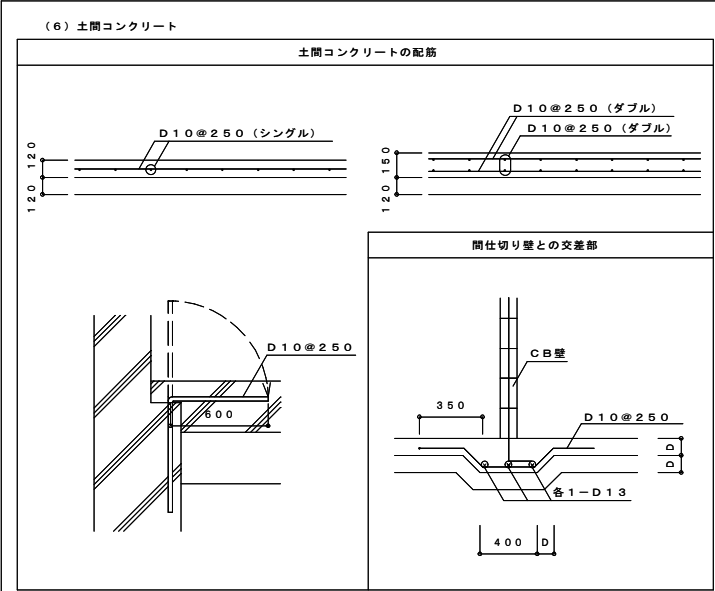


(5) 耐力壁と床スラブの交差部の配筋

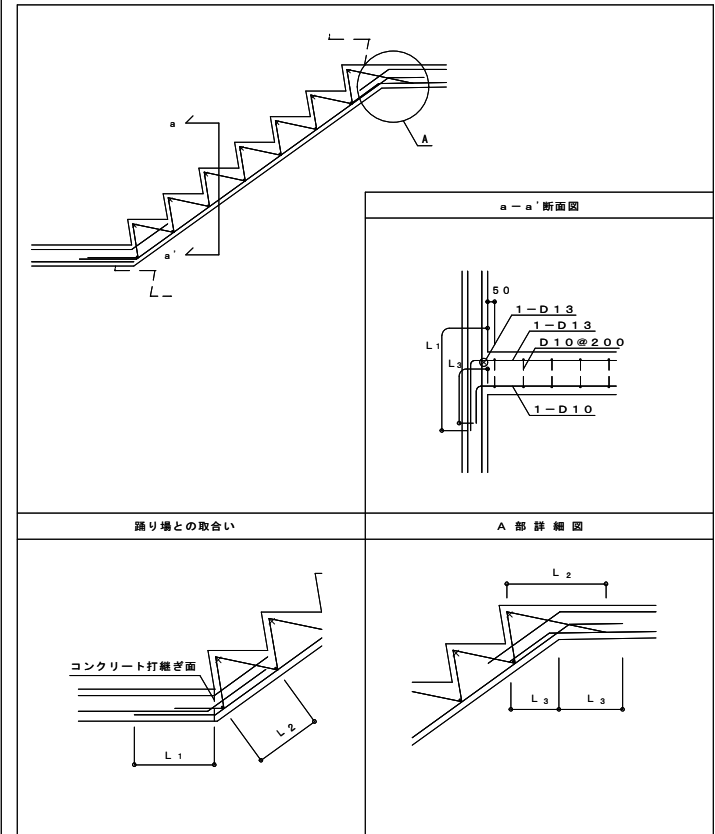


鉄筋コンクリート造（壁式構造）－ 3

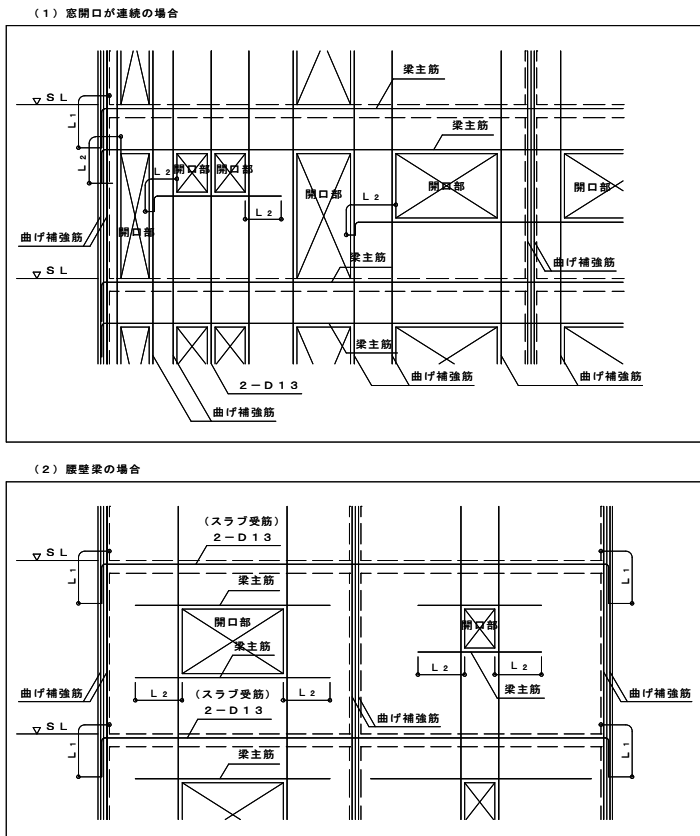
日本建築学会「壁構造配筋指針」及び「公共建築工事標準仕様書」に準ずる。



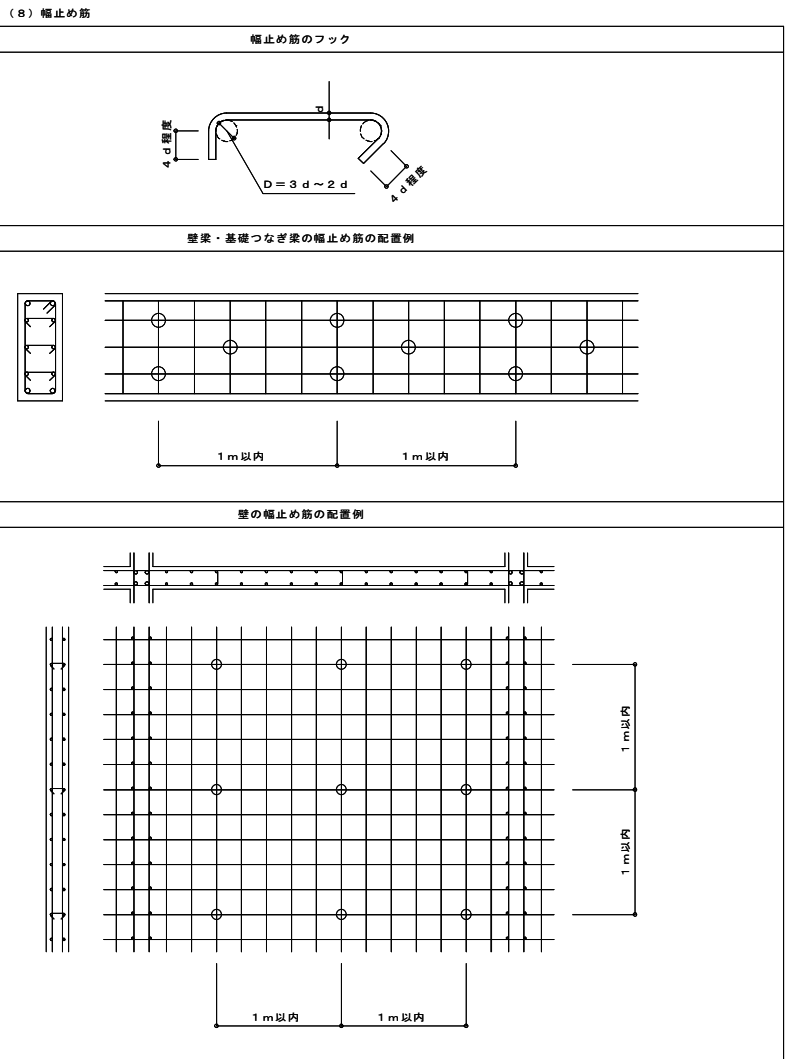
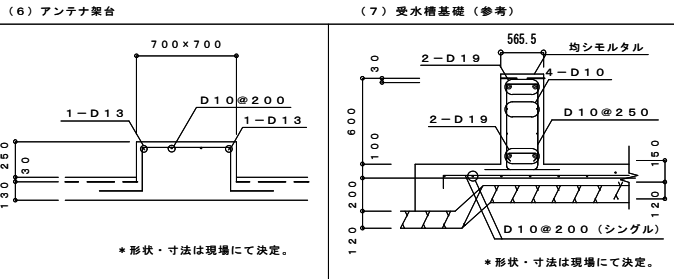
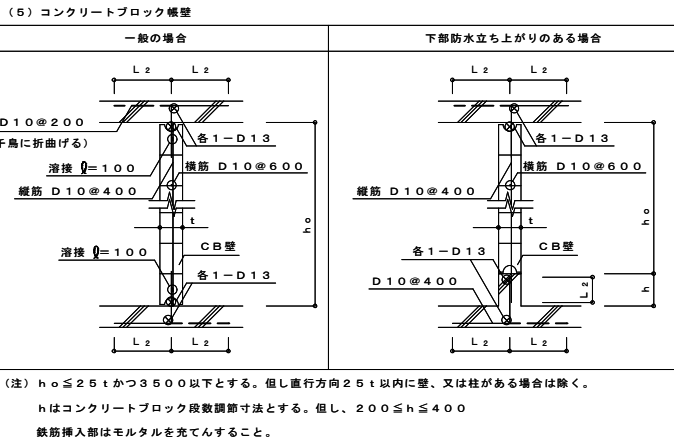
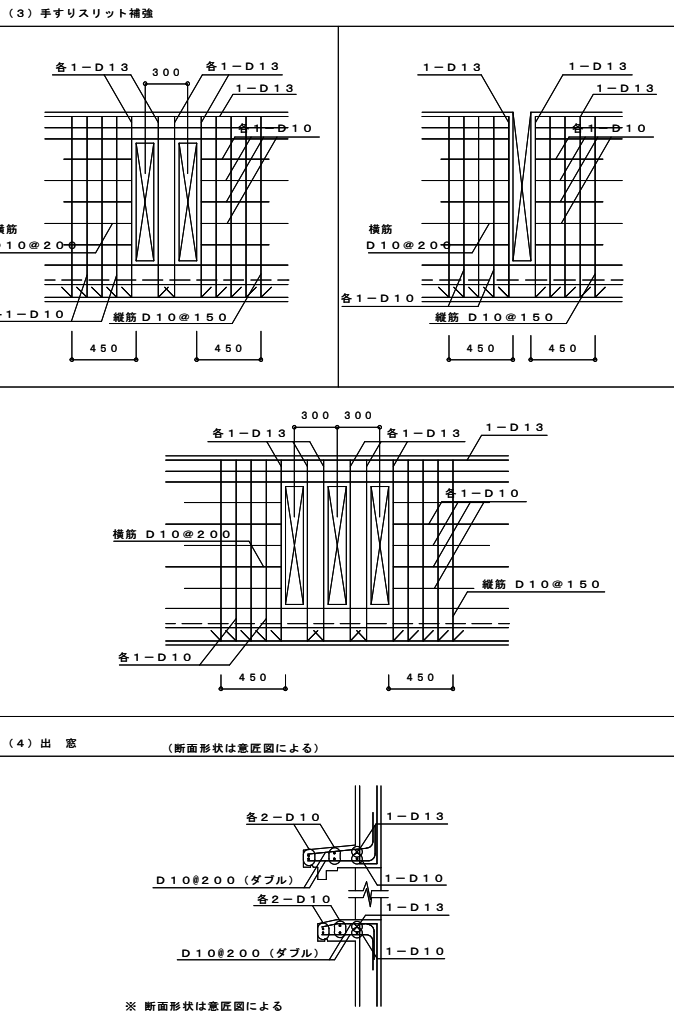
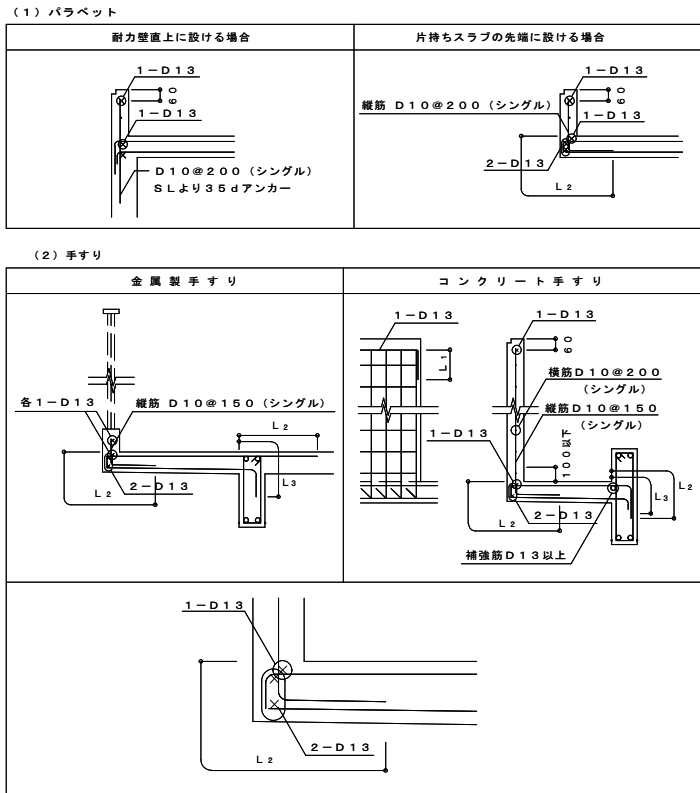
9. 階 段

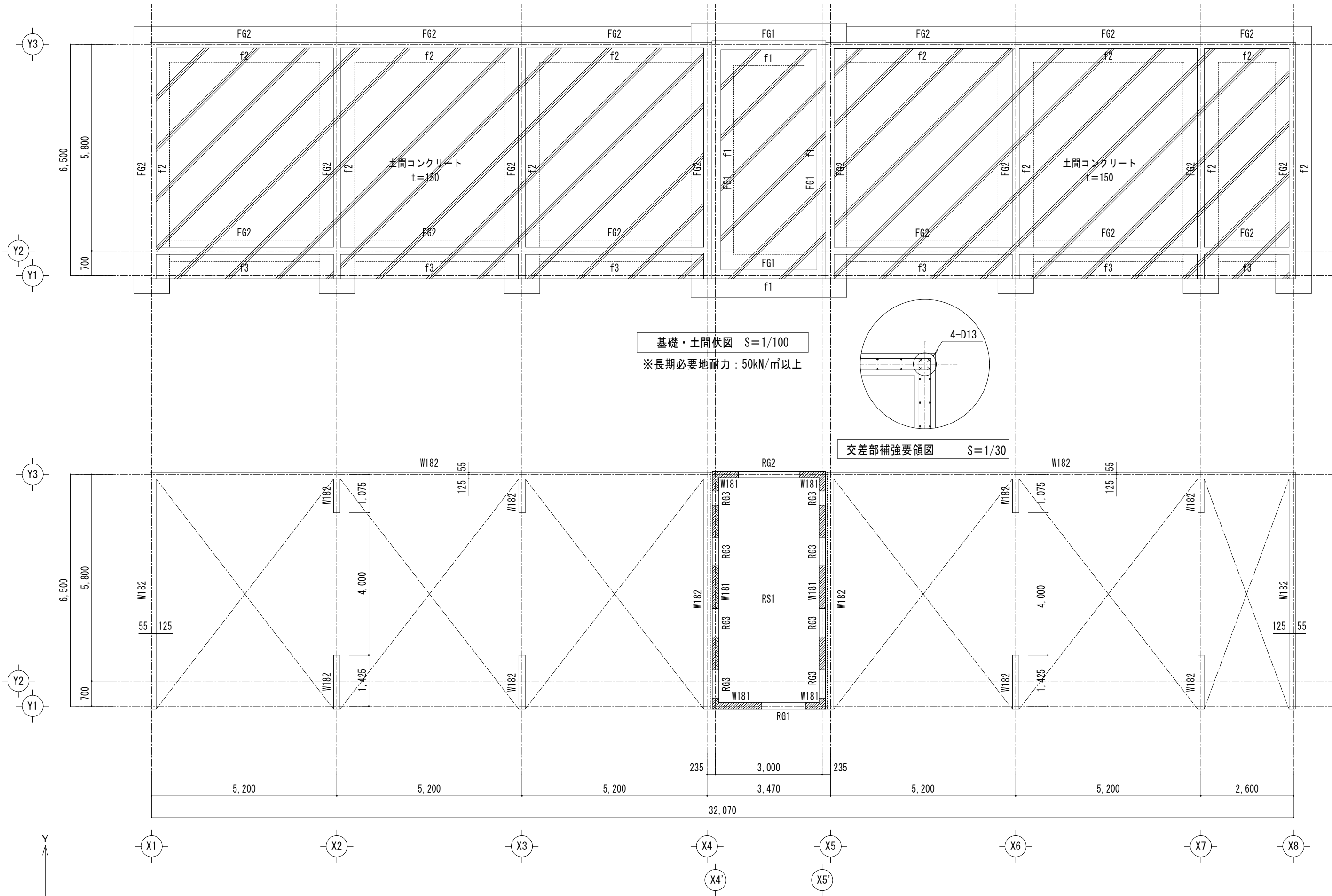


10. 梁主筋及び曲げ補強筋配筋要領



11. その他

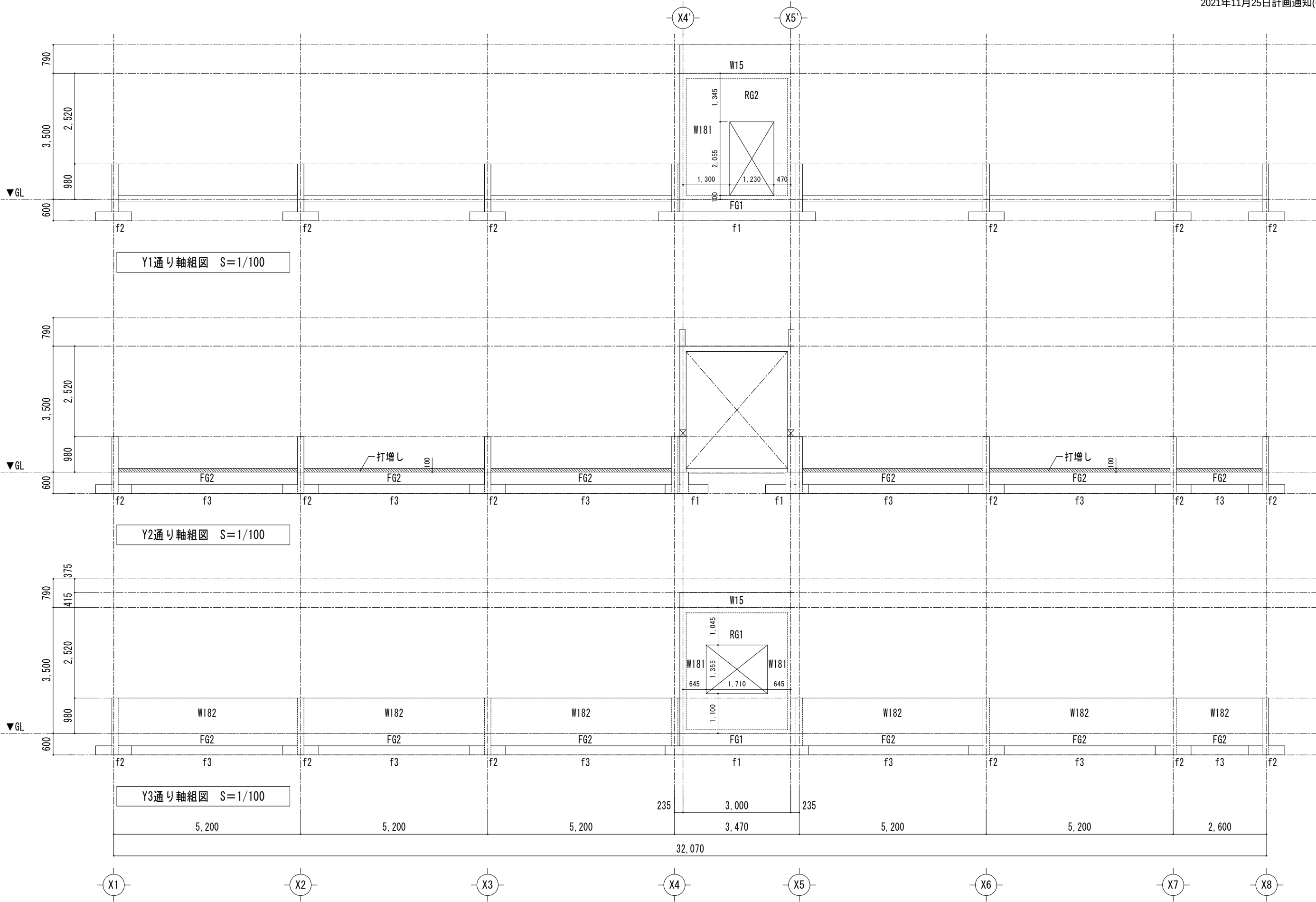


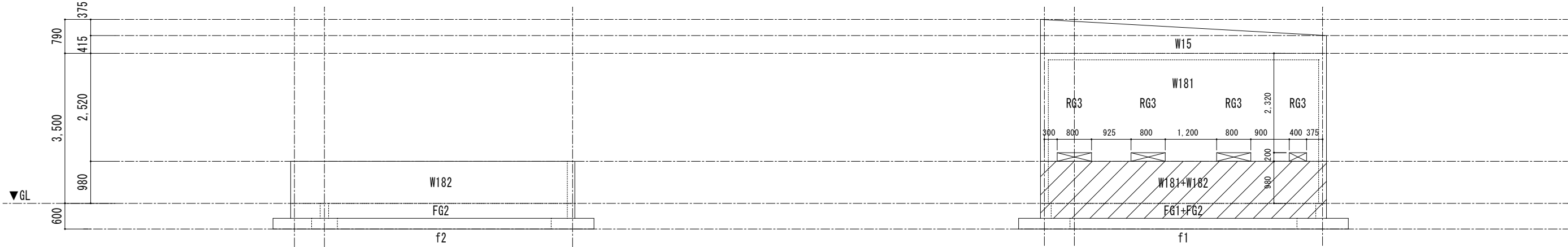


1階壁・梁伏図 S=1/100

※W182はGL+980までの自立壁を示す。

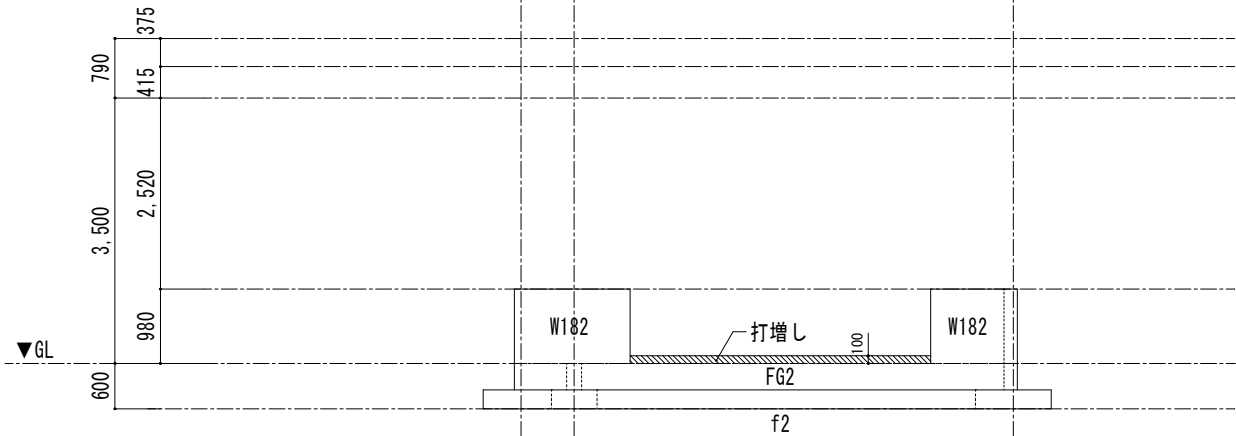




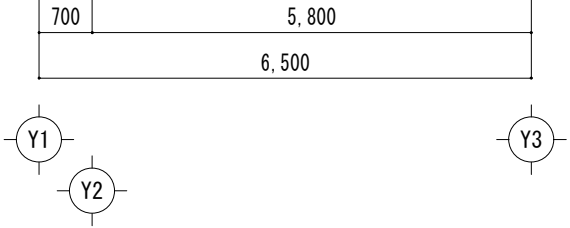


X1・8通り軸組図 S=1/100

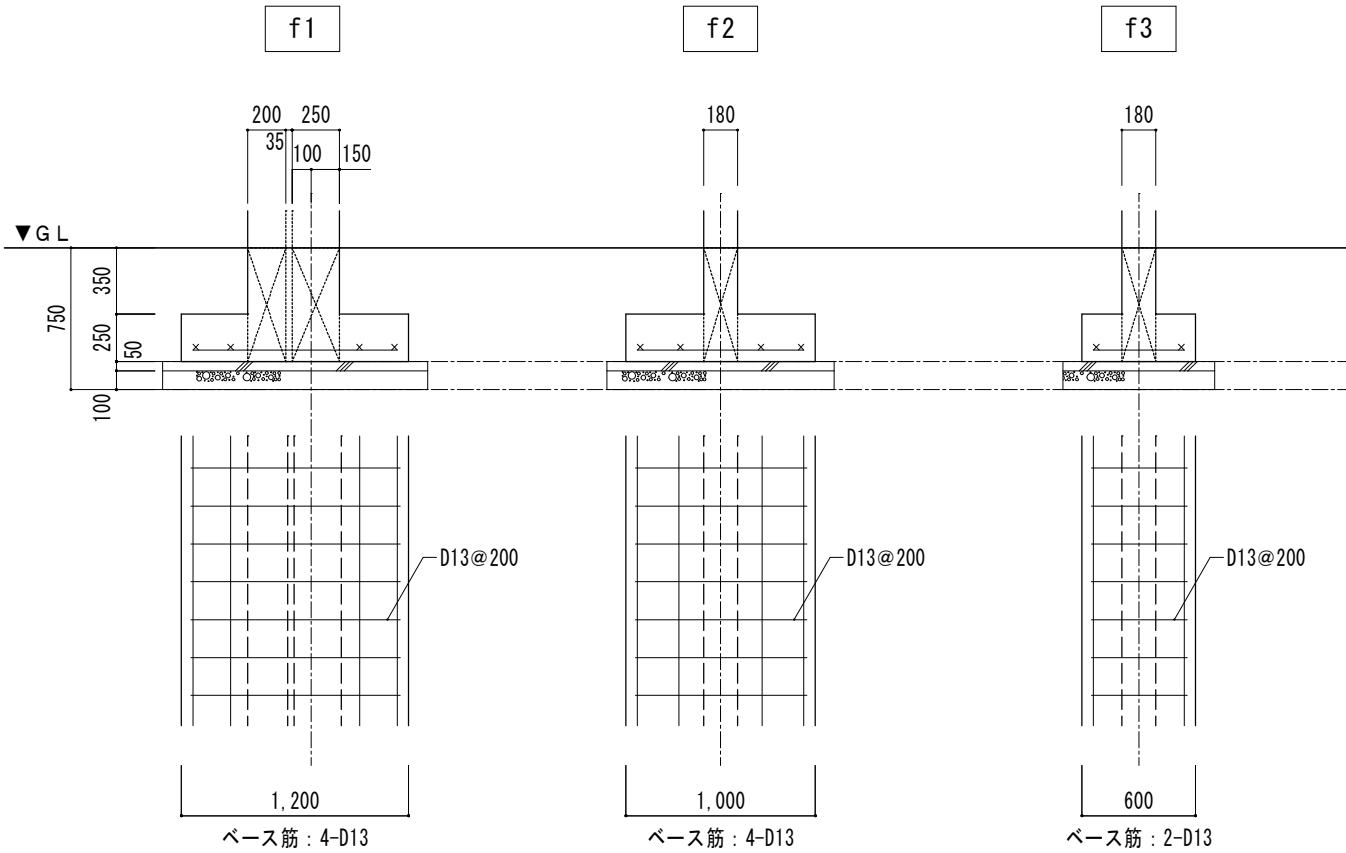
X4・5通り軸組図 S=1/100



X2・3・6・7通り軸組図 S=1/100



※基礎及び土間下埋め戻し部分は、300mm程度毎に十分転圧を行う事。

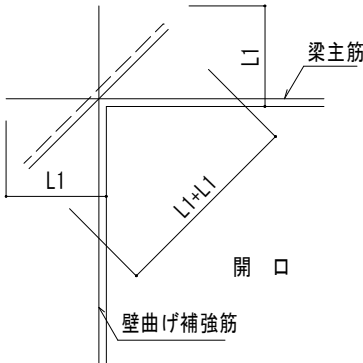


地中梁リスト S=1/40

符号	FG1	FG2
位置	全断面	全断面
断面		
B × D	250 × 600	180 × 600
上端筋	2-D16	2-D13
下端筋	2-D16	2-D13
S T P	D10@200	D10@200
腹筋	2-D10	2-D10

壁リスト S=1/40

開口補強筋の縦筋は、曲げ補強筋を示す。
ダブル配筋の場合巾止め筋はD10@1000以下とする。

符 号		W15	W181・W182	開口補強要領
断 面				
壁 厚		150	180	
配筋タイプ		シングル	ダブル	
縦 筋		D10@200	D10@200	
横 筋		D10@200	D10@200	
開口補強	縦筋	1-D13	2-D13	
	横筋	1-D13	2-D13	
	斜め筋	1-D13	2-D13	

スラブリスト

符号	厚さ	位置	短辺方向 (主筋方向)	長辺方向 (配力筋方向)
			全断面	全断面
RS1	150	上端筋	D10@200	D10@200
		下端筋	D10@200	D10@200
土間	150		D10@150	D10@150

梁リスト S=1/40 ※は@300以内とする

符号	RG1	RG2	RG3
位置	全断面	全断面	全断面
断面			
B × D	180 × 1300	180 × 1000	180 × 2300
上端筋	2-D13	2-D13	2-D13
下端筋	2-D13	2-D13	2-D13
S T P	D10@200	D10@200	D10@200
腹筋	10-D10	8-D10	16-D10

直交集成板・構造用集成材工事特記仕様書

1. 一般事項

- (1) 適用範囲
本仕様書は建築物および工作物の構造上主要な部分に直交集成板・構造用集成材を用いる工事に適用する。
■は適用項目を示すものとする。(□は適用しない。)
- (2) 設計図書
設計図書とは本仕様書、設計図、指示書(現場説明書および質疑回答書を含む)をいう。
- (3) 標準仕様書
設計図書に記載なきものは「国土交通大臣官房官庁営繕部監修・公共建築木造工事標準仕様書(H31年版)」に準ずる。
上記の仕様書に記載なき場合は、公共規格かこれに準ずる規格を適用する。
- (4) 準拠基準
- | | |
|------------------------------|---------------|
| a. 日本農林規格 (JAS) | 農林水産省 |
| ・ 日本工業規格 (JIS) | 日本工業標準調査会 |
| b. 木質構造設計標準・同解説 (2006) | 日本建築学会 |
| c. 大断面木造建築物設計施工マニュアル (1988) | 日本建築センター |
| d. 木造軸組工法住宅の許容応力度設計 (2017) | 日本住宅・木材技術センター |
| e. 木質構造接合部設計マニュアル (2009) | 日本建築学会 |
| f. 建築工事標準仕様書JASS11木工事 (2005) | 日本建築学会 |
- (5) 製作要領書、建方要領書及び施工計画書の作成・提出
工事に先立ち、製作要領書、建方要領書及び施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。
- (6) 施工図及びプレカット図の提出
工事に先立ち各種の施工図を作成し監督職員の承諾を受ける。
プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。
- (7) 製作工場の選定、承諾
設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監督職員の承諾を受ける。

2. 材料の品質

2.1 木質材料

本項の内容は特記のない場合、直交集成板、構造用集成材、構造用製材及び構造用合板の日本農林規格に準ずること。

(1) 直交集成板 (以下、C L T)

a. C L T製作工場

- I. 低ホルムアルデヒド直交集成板JAS認定工場であること。
b. C L Tの仕様 (断面寸法は構造図参照)

部 位	樹 種	規 格	強度等級	種 別	接着性能
屋根	すぎ	異等級構成	S60-5-5	A種構成	使用環境B
壁	すぎ	異等級構成	S60-5-5	A種構成	使用環境B

- C L Tラミナの原材料は県産材とし、県産材証明書を監督職員に提出すること。
c. 工場での製品の表面仕上げは、下記の通り

■ 無処理 (内壁側)
■ エポキシパテ補修の上サンダー仕上げ (外壁側)

(2) 構造用集成材

a. 構造用集成材製作工場

- I. JIS Q 9001:2008(ISO Q 9001:2008) 工場であること。
II. 低ホルムアルデヒド大、中、小断面集成材JAS認定工場であること。
III. JAS認定工場の写し及び出荷証明書を監督職員に提出すること。
IV. 製造指導者として、一級建築士又は一級建築施工管理技士、構造用集成材管理士、木材接着士をそれぞれ2名以上が従事すること。(資格者名簿提出)

b. 構造用集成材の仕様 (断面寸法は構造図参照)

部 位	樹 種	規 格	強度等級	材面品質	接着性能
小梁	すぎ	対称異等級構成	E65-F225	2種	使用環境A

- すぎ集成材ラミナの原材料は県産材とし、県産材証明書を監督職員に提出すること。
■ 外部に使用する集成材については、使用環境A (接着性能) とする。

c. 工場での製品の表面仕上げは、下記の通り (2種の場合)

通 直 材	エポキシパテ補修の上プレーナー仕上げ
湾 曲 材	エポキシパテ補修の上プレーナー仕上げ
	エポキシパテ補修の上プレーナー掛け+サンダー (80#) 仕上げ

d. 構造用集成材の加工等

・製品の工場での面取り仕様は下記の通り(※a法を現す)

通 直 材	部材背 (成) mm/部材巾mm	～120	121～179	180～
■ ～180	糸面程度	2～3mm	6mm	
■ 181～300		2～3mm	6mm	9mm
■ 301～500	6mm		9mm	9mm
■ 501～	9mm		9mm	9mm

※通直材は特記なき限り 上記寸法4面平面取りとする。

・製品の工場での塗装は下記の通り 施工図にて決定する

程 度	■ 汚れ防止 ■ 木口 (吸水防止)	1回塗り
塗 装	■ オスモカラー □	エクストラクリアー (内装用)

- ※ 外部に使用する主要構造部 木材 (集成材、製材共) には有効な防腐処置を講ずる。
※ 外壁内部の防腐処置として、構造耐力上主要な部分である柱及び筋交いのうち地面から1m以内の部分には有効な防腐処置を講ずる。必要に応じて防蟻処置も講ずる。
※ 仕上げ塗装は仕上げ表による。
※ 必要に応じて、柱脚部の木口割防止塗装等 (ウレタン系) を用い適切にシール処理を行うこと。
※ 養生塗装は特記なき限り梁上は無塗装とする。
※ 防腐・防蟻注入材は無塗装とする。
※ 養生塗装以外は構造用集成材工事に含まない。仕上げ塗装、防腐・防蟻処理は塗装工事とする。
・製品の工場での養生梱包は下記の通り

程 度	■ 養生梱包しない □ 吊り荷位置のみ段ボール養生
-----	------------------------------

(3) 構造用製材 (断面寸法は構造図参照)

部 位	品 名	樹 種	等級	含水率	断面寸法
垂木 (屋根下地)	構造用製材	すぎ	無等級	SD20	仕上り寸法

- 製材原材料の原材料は県産材とし、県産材証明書を監督職員に提出すること。
■ 基礎土土台用製材は防腐・防蟻注入材とする。(注入材は含水率を問わない)
■ 強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の節、目切れ等注意到意して材料を選定し、仕口や接合部に欠点が当たらないように加工する。
■ 材種・等級は表示を確認し、外観・寸法検査は日本農林規格に準じて行う。
■ 含水率やヤング係数は、刻印された表示の確認を原則とする。

(4) 構造用合板

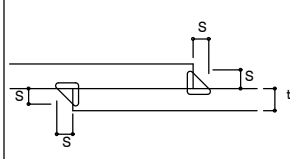
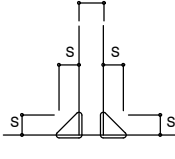
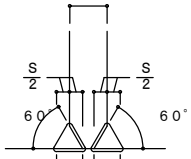
部 位	品 名	強度等級	曲げ性能基準 合板1級	板面品質	接 着 耐久性	寸法 (mm) 厚 (幅×長)
屋根	構造用合板	2級	—	C-D	1類	12mm

2.2 接合金物

(1) 製作金物

- a. 特記なき限り、製品材質はJIS G3101 (一般構造用圧延鋼材) を準用し、材質はSS400とする。
b. 製品の溶接は下記の通り (特記なき限り隅肉溶接とする。)

隅肉溶接の開先標準 (単位: mm)

H (被覆アーク溶接、ガスシールドアーク溶接及びセルフシールドアーク溶接)		
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	
t ≤ 16	t ≤ 16	16 < t ≤ 32
		

規 格	隅肉 溶接					
板厚 t	6mm	9mm	12mm	16mm	19mm	22、25mm
サイズ S	5mm	6～7mm	9mm	12mm	12mm	16mm

- ※ 板厚は薄い方の厚さを現す。
c. 梁受け金物形状 (製作金物)
柱とはり、はりとはりの仕口はピン接合とする。
(2) ファスナー (ボルト、ナット、座金、ドリフトピン、ラグスクリューボルト等)
a. 製品の仕様は下記の通り (特記なき限り材質はSS400)
・ボルト、ナット

規 格	JIS B 1180 JIS B 1181 JIS B 0205	(六角ボルト) (六角ナット) (メートル並目ネジ)
-----	--	----------------------------------

・座金

形 状	ボルト径	M12	M16	M20	M24
	座金直径	38mm	48mm	58mm	68mm
	座金厚さ	3.2mm	4.5mm	6.0mm	6.0mm

※ 引張ボルトに使用される座金寸法は、別途計算による。

・ドリフトピン

規 格	JIS G 3191	(熱間圧延棒鋼及びバーインコイル)
-----	------------	-------------------

・アンカーボルト

規 格	■ JIS B 1220 □ JIS B 1180	(構造用転造両ねじアンカーボルトセット) (Zマーク金物、製作アンカーボルト)
-----	------------------------------	--

※ アンカーボルト (ナット、座金含む) については、構造用集成材工事に含まず、基礎工事とする。

・鋼ブレース

規 格	JIS A 5540、JIS A 5541 (SNR400B)	(建築用ターンバックル) M12～M33
-----	---------------------------------	----------------------

※ 施工時 導入張力については「JSS建築用ターンバックル筋交い設計施工指針・同解説」(日本鋼構造協会) 参照

b. その他

規 格	□ JIS G 4051 (S45C) □ JIS G 3138 (SNR490B) □ JIS G 4053 (SOM435) □ JIS G 4053 (S45C) □ JIS G 4051 (S45C) □ JIS G 4051 (S45C) □ JIS G 3506 (SWRH57)	ラグスクリューボルト (25Φ) ラグスクリューボルト (19Φ) ラグスクリューボルト用 六角ボルト ラグスクリューボルト用 六角ナット (M16以上) ラグスクリューボルト用 六角ナット (M14以下) ラグスクリューボルト用 座金 ラグスクリューボルト用 ばね座金
-----	--	---

(3) 錆止め塗装 施工図にて決定する

・製作金物

程 度	□ JIS K 5674 □ JIS H 8610 ■ JIS H 8641	鉛・クロムフリー錆止め 電気亜鉛めっき 溶融亜鉛めっき	1回塗り
-----	--	-----------------------------------	------

※ 既製金物の塗装仕様は、メーカー仕様為準ずる。

・ボルト、ナット、座金、ドリフトピン、ラグスクリュー、Xマーク金物

程 度	■ JIS H 8610 ■ JIS H 8641	(電気亜鉛めっき) (溶融亜鉛めっき)
-----	------------------------------	------------------------

・アンカーボルト ※ 土台、ホールダウン用等 既製品の塗装はメーカー仕様為準ずる。

程 度	■ 塗装無し ■ JIS H 8610	(電気亜鉛めっき)
-----	------------------------	-----------

3. 木材の加工

(1) 加工寸法の精度

- a. センタースリット (鋼板挿入) 接合部
スリット加工部等、状況に応じて開き止めを設ける。M12ボルトを標準とする。

鋼板厚	6mm	9mm	12mm
スリット幅	8mm	11mm	14mm

b. ボルト接合部

ボルト径	M12	M16	M20
木部孔径	13.5mm	18mm	22mm
鋼板孔径	13mm	17.5mm	21.5mm

c. ドリフトピン接合部

ピン径	M12	M16	M20
木部孔径	12mm	16mm	20mm
鋼板孔径	13mm	17.5mm	21.5mm

d. 丸鋼 (せん断対応用)

木材部材幅	≤130mm	≤170mm	≤220mm
ダボ 径	40mm	50mm	60mm
ダボ長さ	300mm以下	300mm以下	300mm以下

(2) 埋木 (見え掛り部)

a. 対象接合具

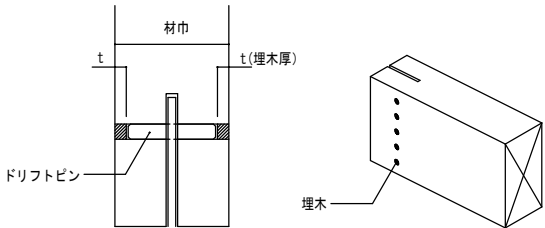
ボルト	□ 対象	
ドリフトピン	□ 対象	
ラグスクリュー	□ 対象	

b. ドリフトピン埋木寸法 (燃え代設計時 見え掛り部 特記なき限り下記寸法以上の厚みとする)

準耐火仕様	□ 30分準耐火仕様 □ 45分準耐火仕様 □ 1時間準耐火仕様	被覆無し t = 10mm t = 20mm	
-------	--	------------------------------	--

※木材に関する燃え代寸法は構造図参照。

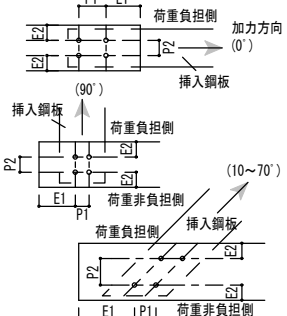
※ボルト (見え掛り部) 埋木寸法については木材燃え代寸法とする。



4. 接合具間隔

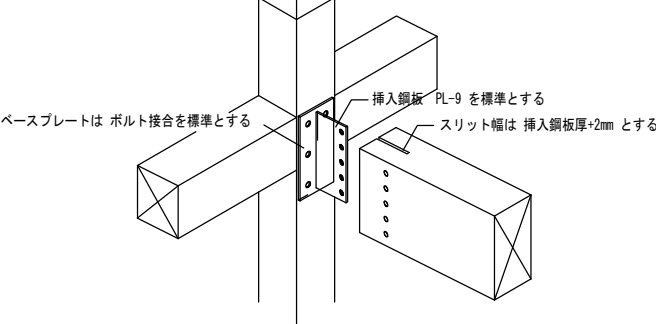
(1) ボルト、ドリフトピン (曲げ降伏型せん断抵抗) の配置間隔

特記なき限り、木材のボルトの最小間隔 (P1、P2) 及び最小端あき距離 (E1、E2) は下記の通り (d: ボルト径、t: 主材厚)

		加力方向			
		繊維方向 (0°)	繊維直交方向 (90°)	中間角度	
間 隔	P1	7d	t/d=2 2≤t/d<6 3d~5d	角度に応じて繊維方向と繊維直交方向の値の中間値をとる	
	P2	3d	4d		
材 端	E1	7d (荷重負担側) 4d (荷重非負担側)	7d		
	E2	t/d≤6 t/d>6 1.5dかつP2/2	4d (荷重負担側) 1.5d (荷重非負担側)		

加力方向と繊維方向のなす角度が 0°～10° までは繊維方向に加力を受ける場合の距離・間隔とし、70°～90° は繊維直交方向に加力を受ける場合の距離・間隔とする。

ボルト・ドリフトピン接合

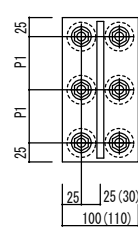
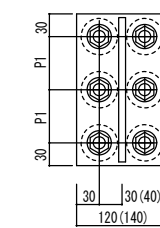
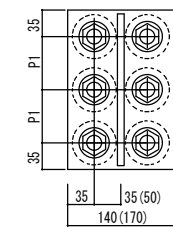


特記なき限り、ドリフトピンの長さは、主材厚+5.0mm、埋木無しとする。

特記なき限り、接合金物 (T型金物) のベースプレートのボルト標準は下記の通り

寸法は柱受け (繊維方向) の場合を示し、() 内は梁受け (繊維直交方向) の場合を示す。

※ 支圧板を設けないときの支圧側の座金寸法は、2.2 (22) ファスナー 座金による

M12	M16	M20
		

5. その他

(1) 釘接合

- ・釘は材の繊維に対して乱に打ち、割れを生じないように端距離、縁距離、釘間隔を大きく取る。
- ・釘の長さは材厚の 2.5 倍以上とする。
- ・1ヶ所の釘の本数は2本以上とする。
- ・自動釘打ち機を使用する場合は、面材に釘がめり込まないように留意する。

(2) アンカーボルトの保持及び埋込み

- ・アンカーボルトの保持及び埋込みは、アンカーボルトの位置と高さを慎重に確認してセットする。
- ・アンカーボルトの位置と高さは、コンクリートの打設前と打設後に計測器で測定する。
- ・コンクリートの打設後にアンカーボルトの位置や高さが著しくずれていることが判明した場合には監督職員と是正方法をすみやかに協議し承諾を得る。

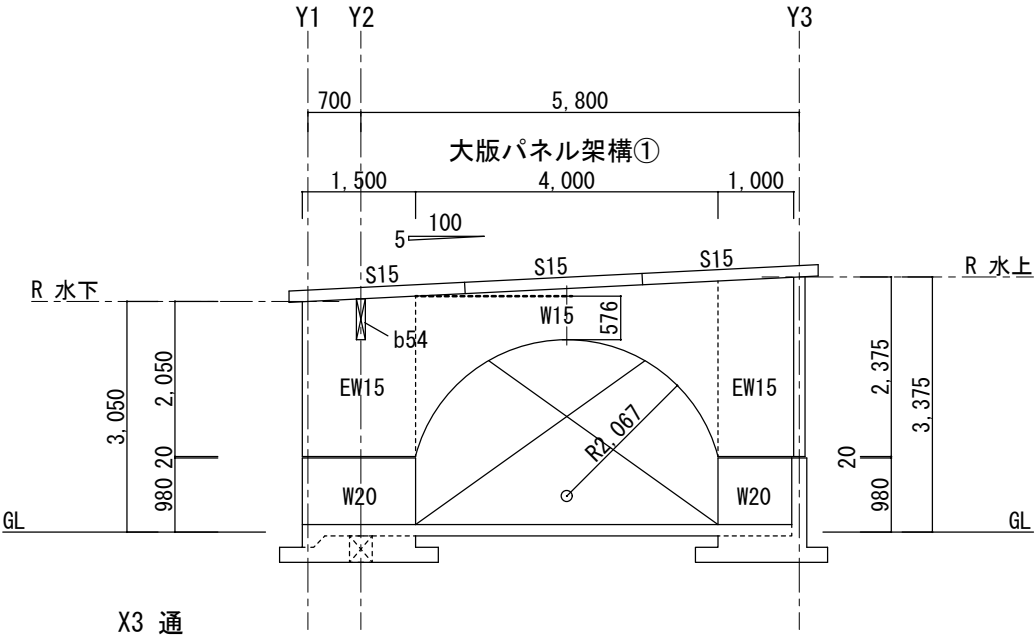
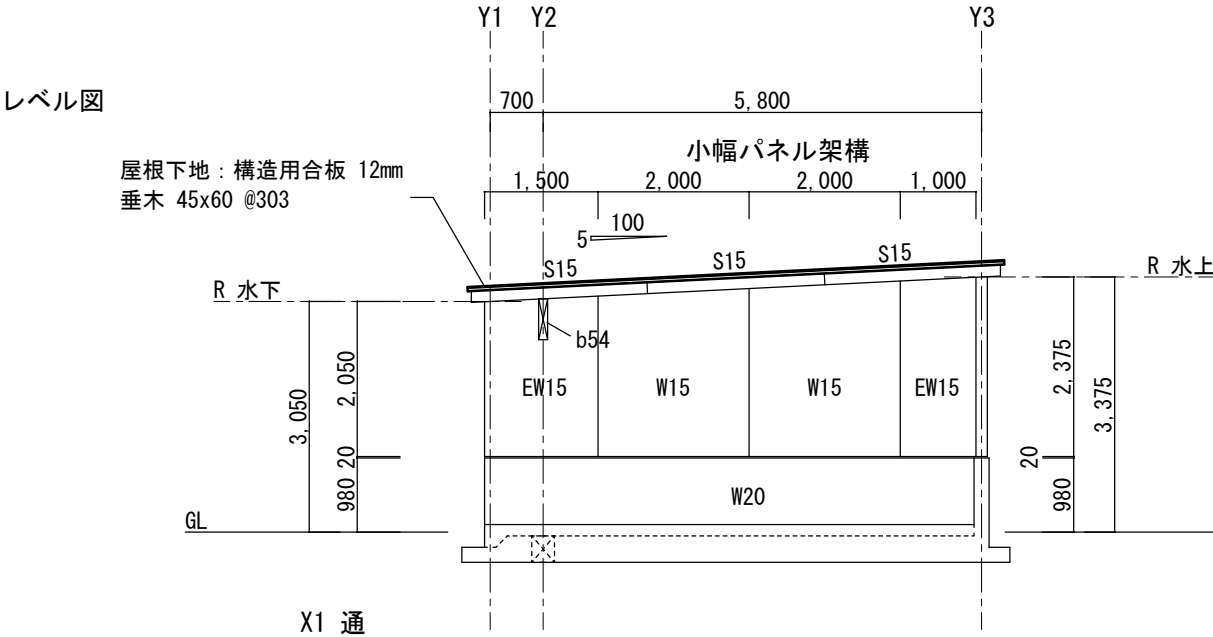
6. 表記方法

・ボルト類

M	ボルト	AB M	アンカーボルト
LS M	ラグスクリュー	HTB M	ハイテンションボルト
DP M	ドリフトピン		

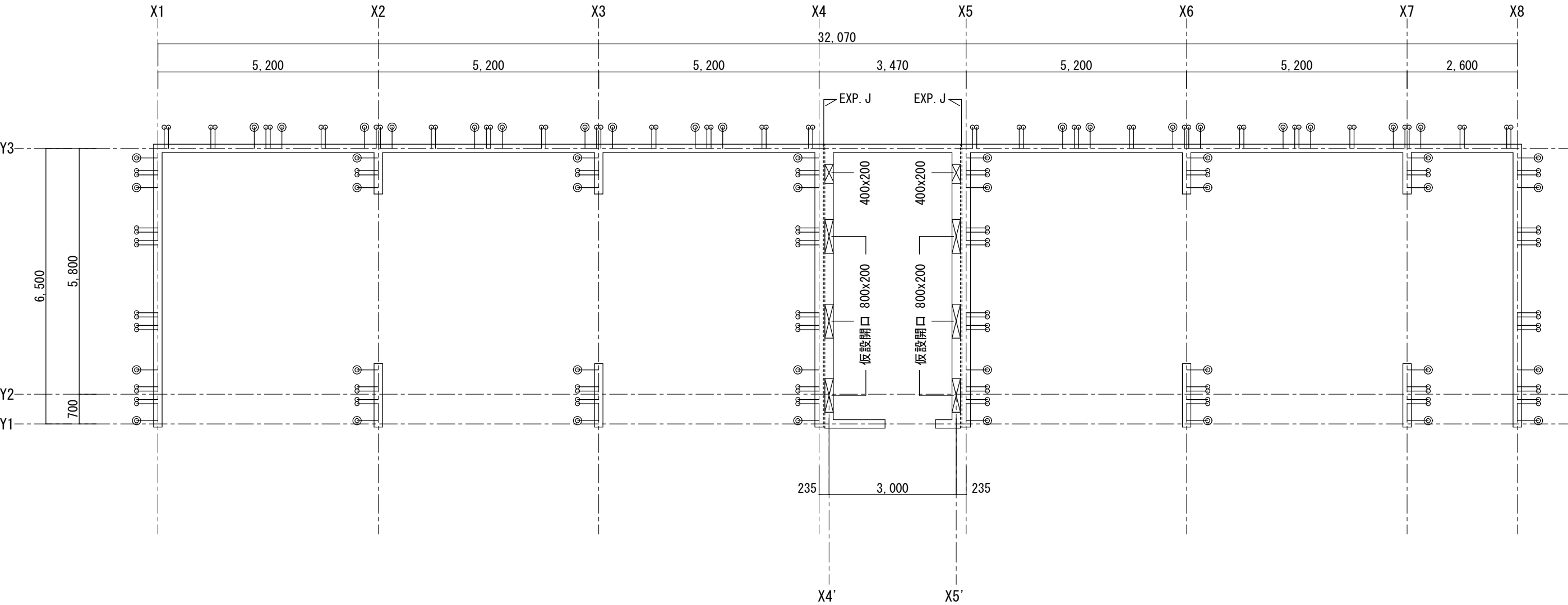
・鋼板類

BPL	ベースプレート	COV PL	カバープレート
FB	フラットバー	FLG PL	フランジプレート
GPL	ガゼットプレート	WEB PL	ウェブプレート
RIB PL	リブプレート	SPL	スプライスプレート
END PL	エンドプレート		



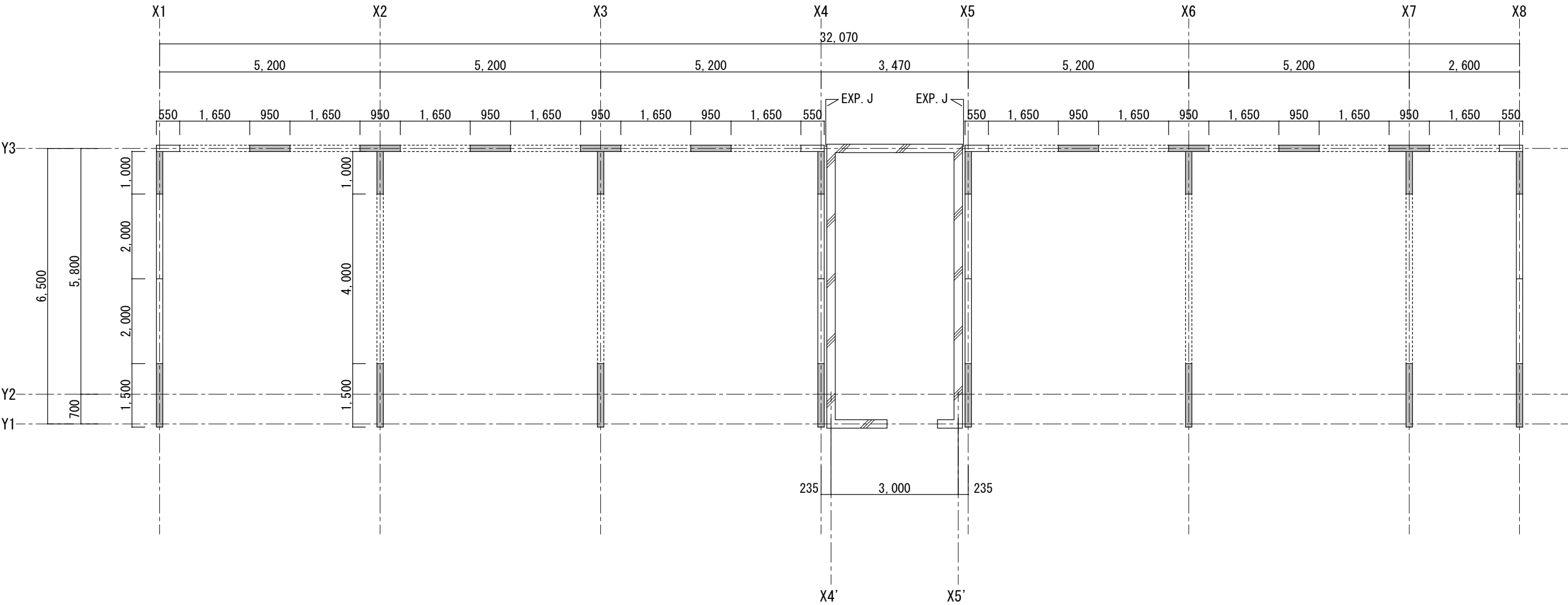
木質部材リスト TH、HDP、TK は 標準接合金物(既成品)

符号	断面 (mm)	材種	接合金物	備考
b54	120×540	すぎ E65-F225	製作金物、TH-33+TH-18	使用環境 A
EW15、W15	150 5-5	すぎ S60 A	引きボルト、χ マーク金物	使用環境 B
S15	150 5-5	すぎ S60 A		使用環境 B
垂木	45×60 @303	すぎ製材 無等級	TK2	
PW12	12	構造用合板 2級	N50 @150	特類



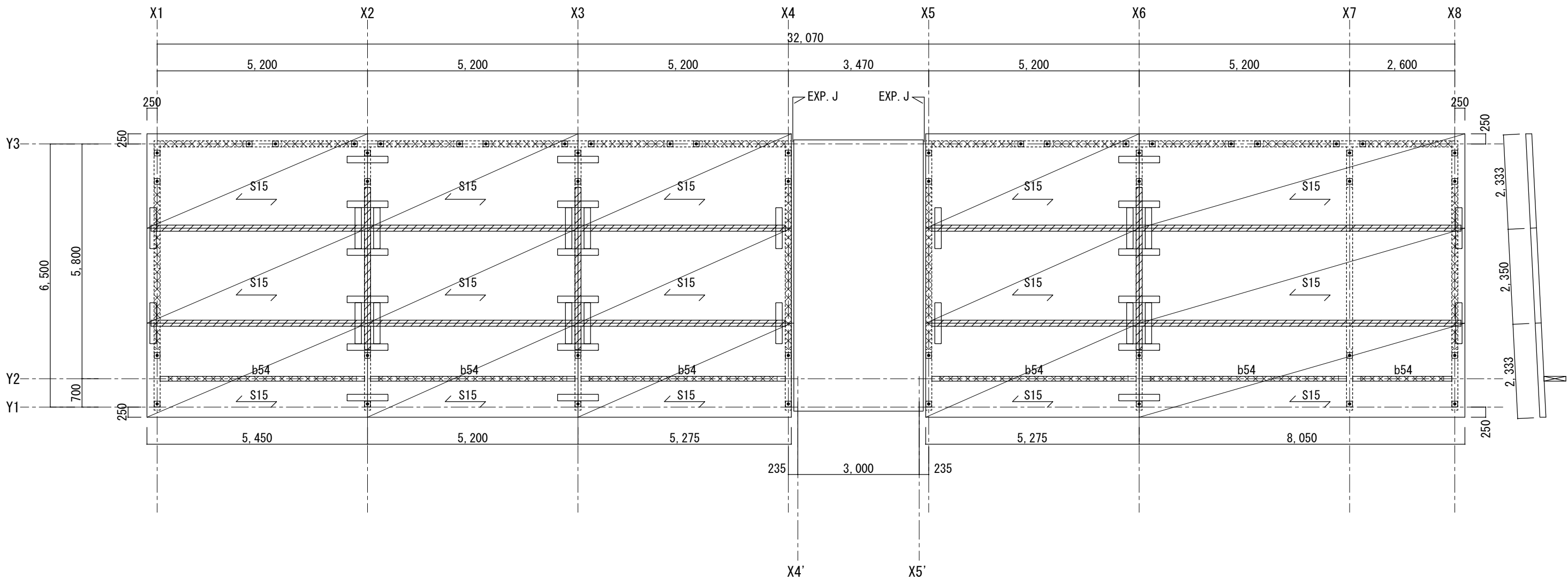
アンカープラン

特記なき限り
基礎立上り天端レベル GL+980、壁脚下端レベル GL+1,000
◎印は 壁脚引きボルト M16 位置を示す
○印は 壁脚せん断金物アンカーボルト M16 位置を示す



壁 伏 図

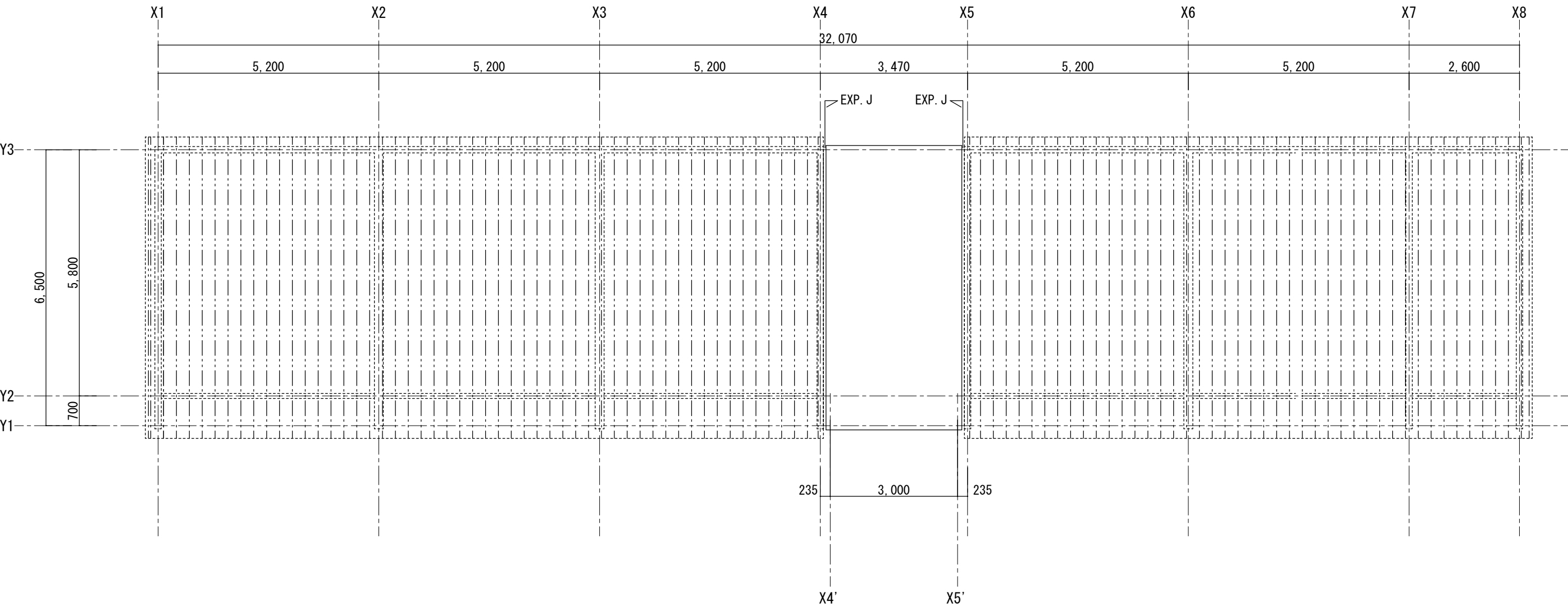
- 特記なき限り
- 印は 壁符号 EW15
 - 印は 壁符号 W15
 - 印は 壁符号 W15 腰壁・垂壁



軒 伏 図

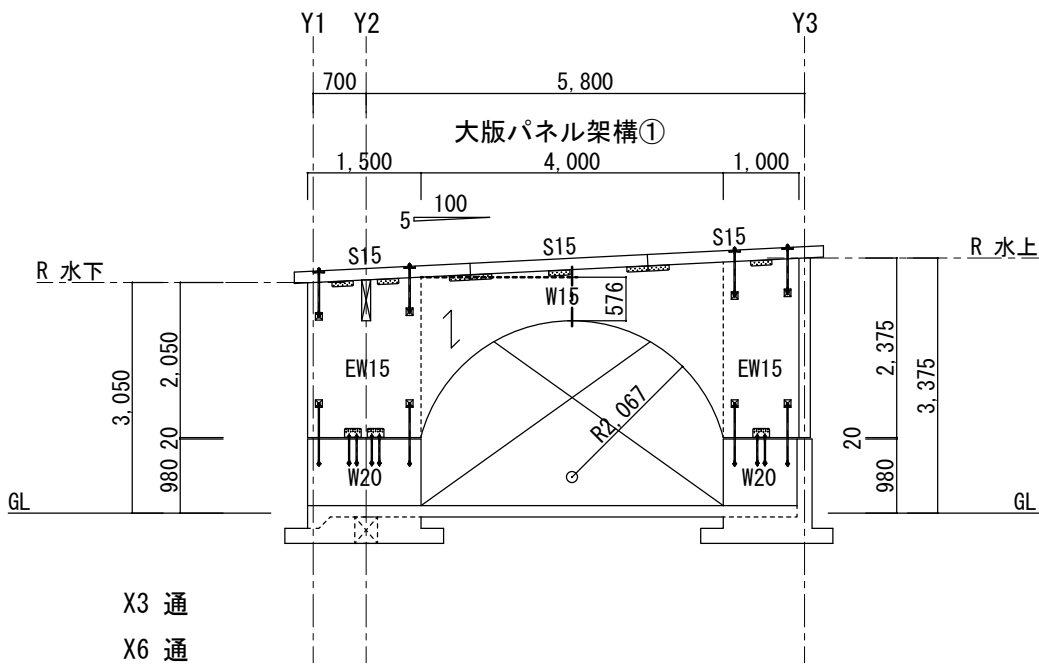
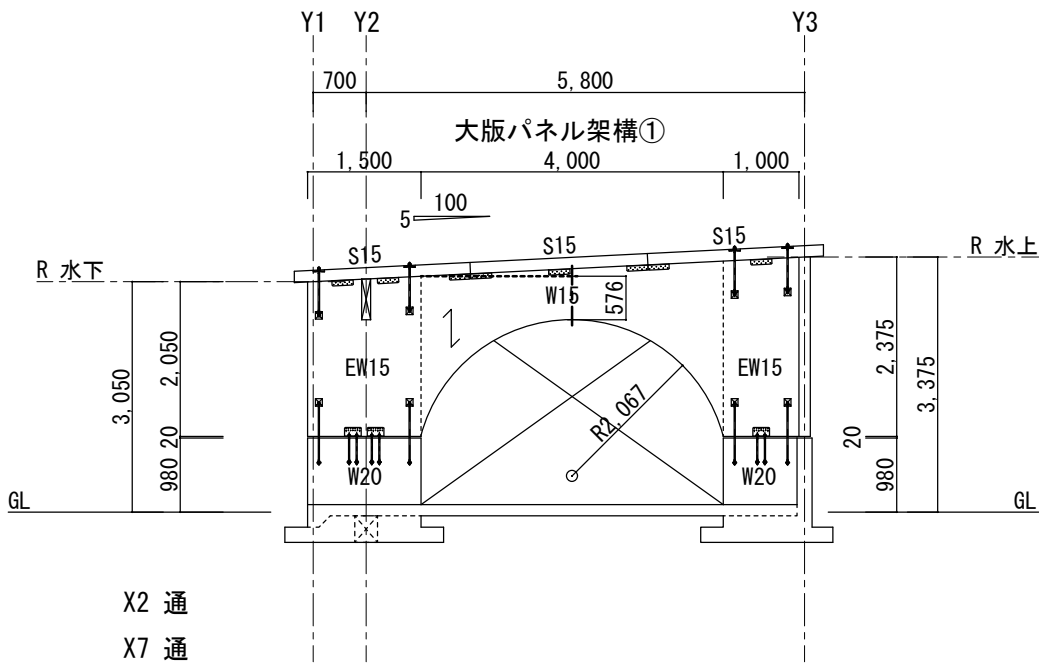
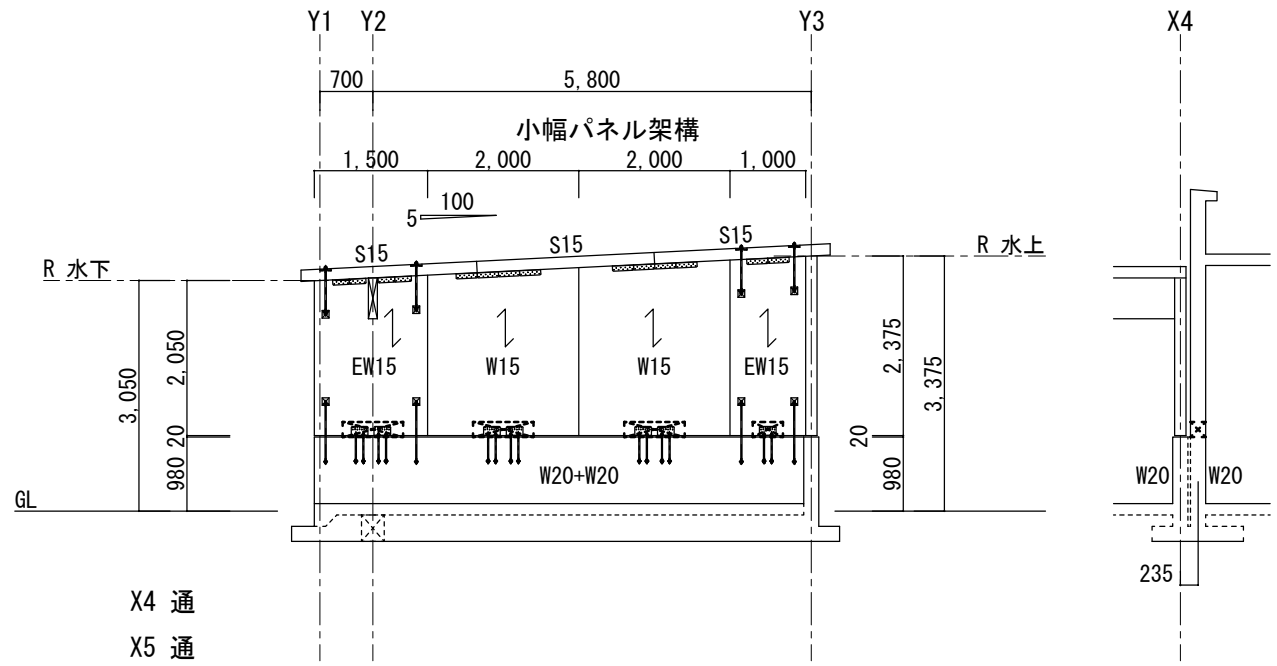
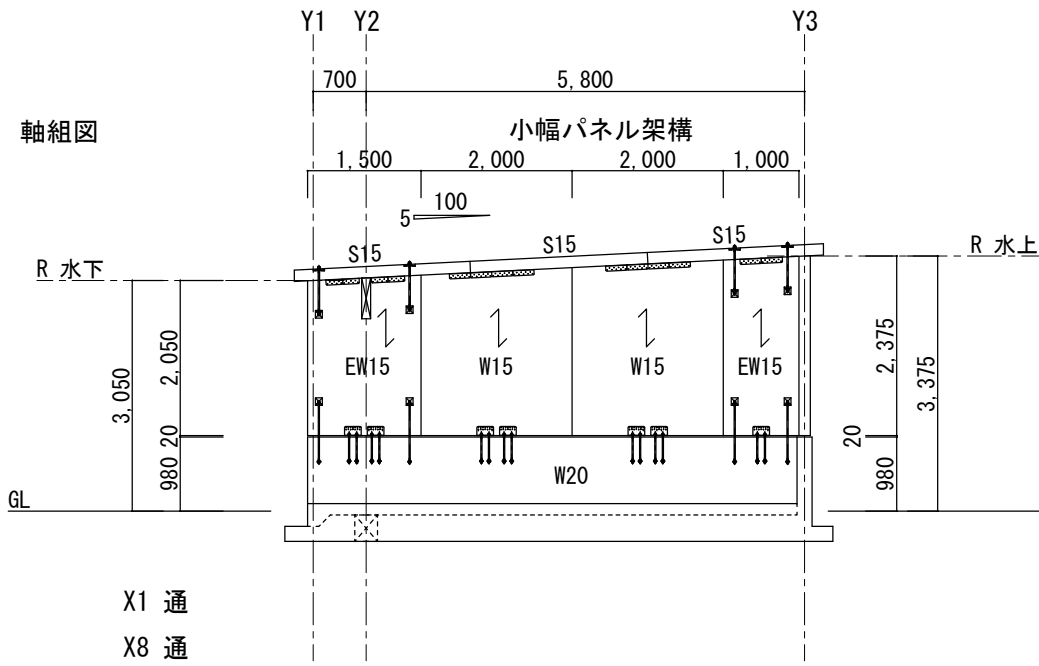
特記なき限り

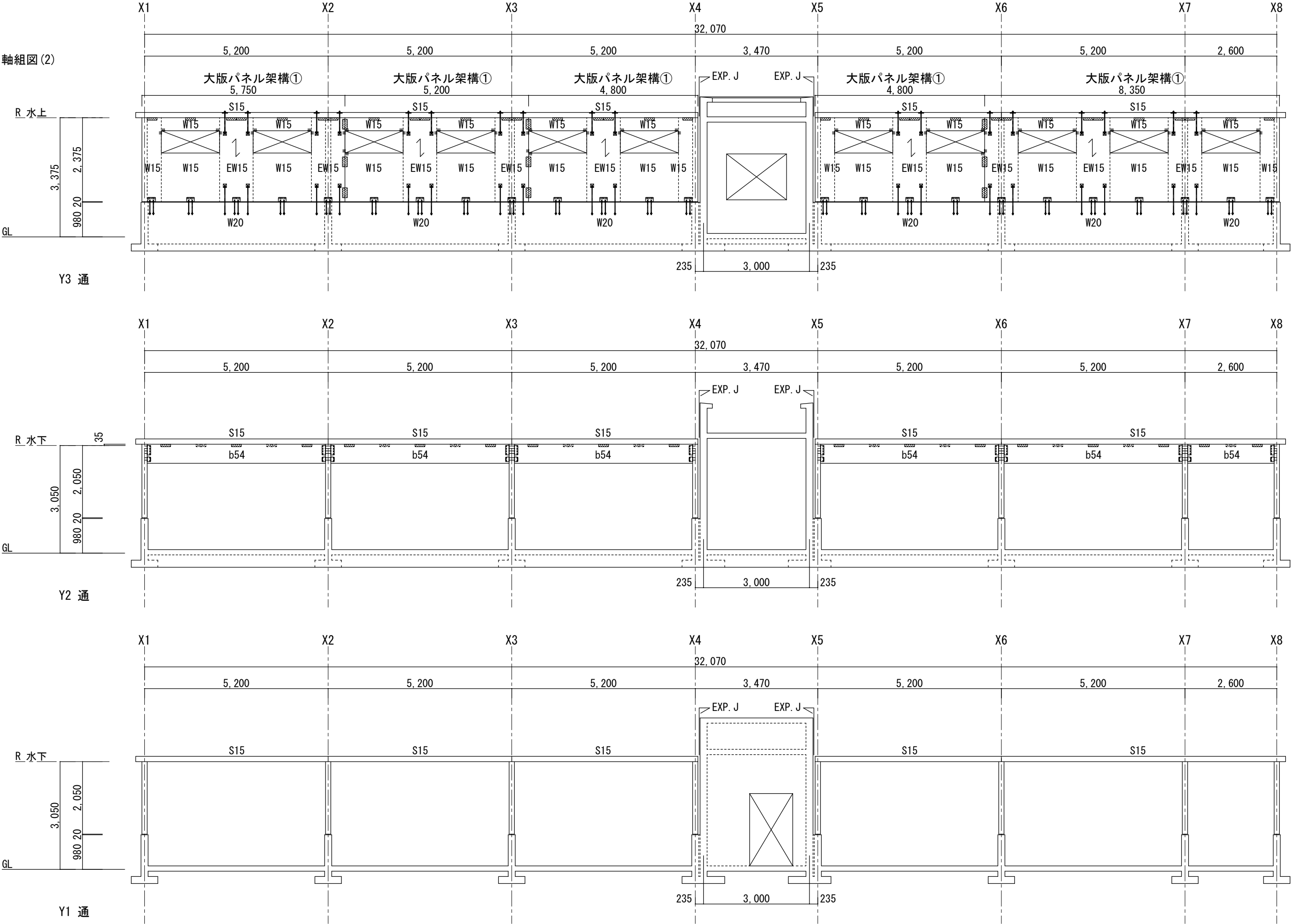
- 印は 開き止め帯金物 STF 位置を示す
- 印は スプライン接合部の位置を示す
- 印は S15-W15 を 構造用ビスφ8-@200(L=240:HBS、L=260:PS) で 留める位置を示す



小屋伏図

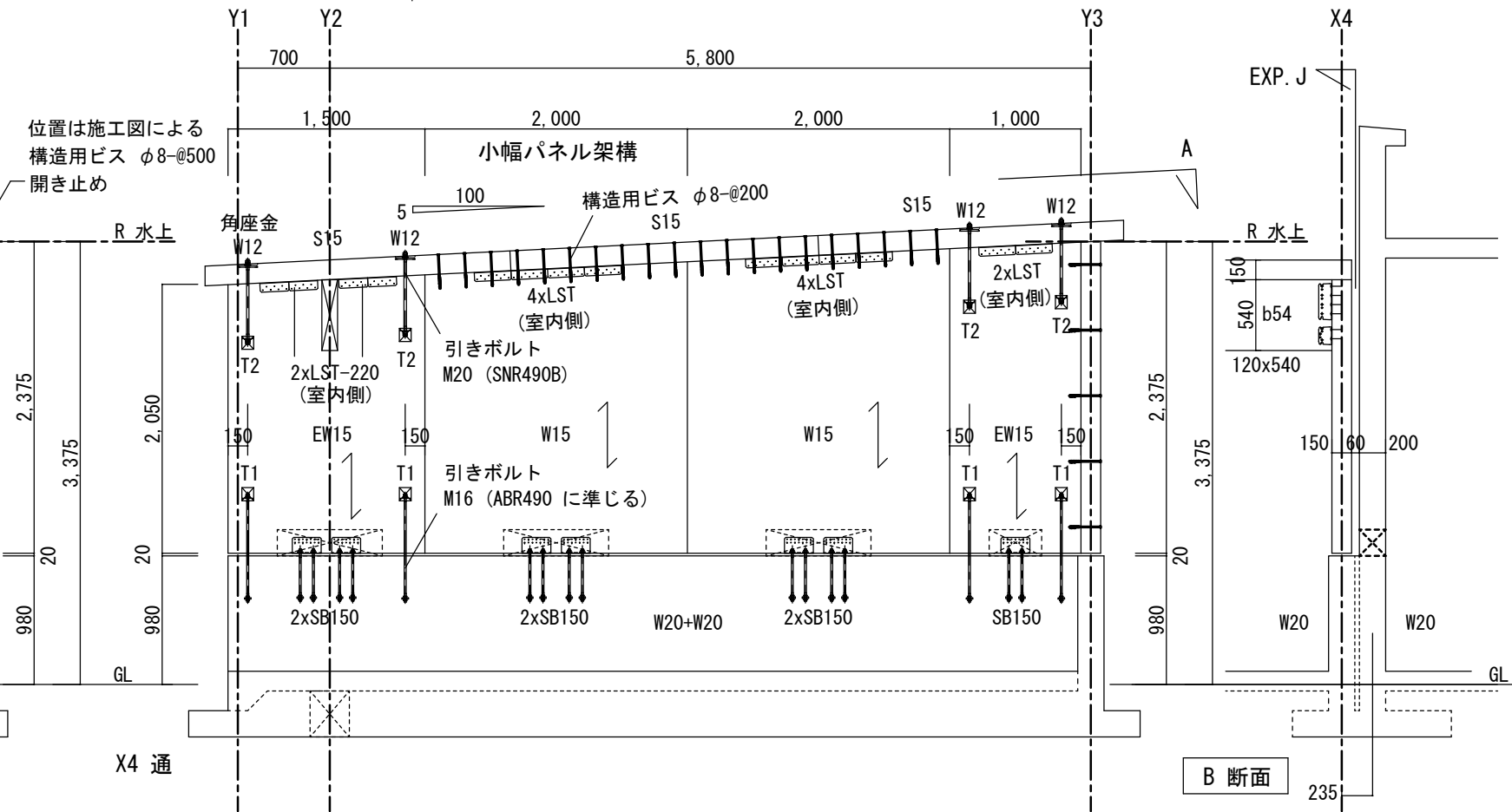
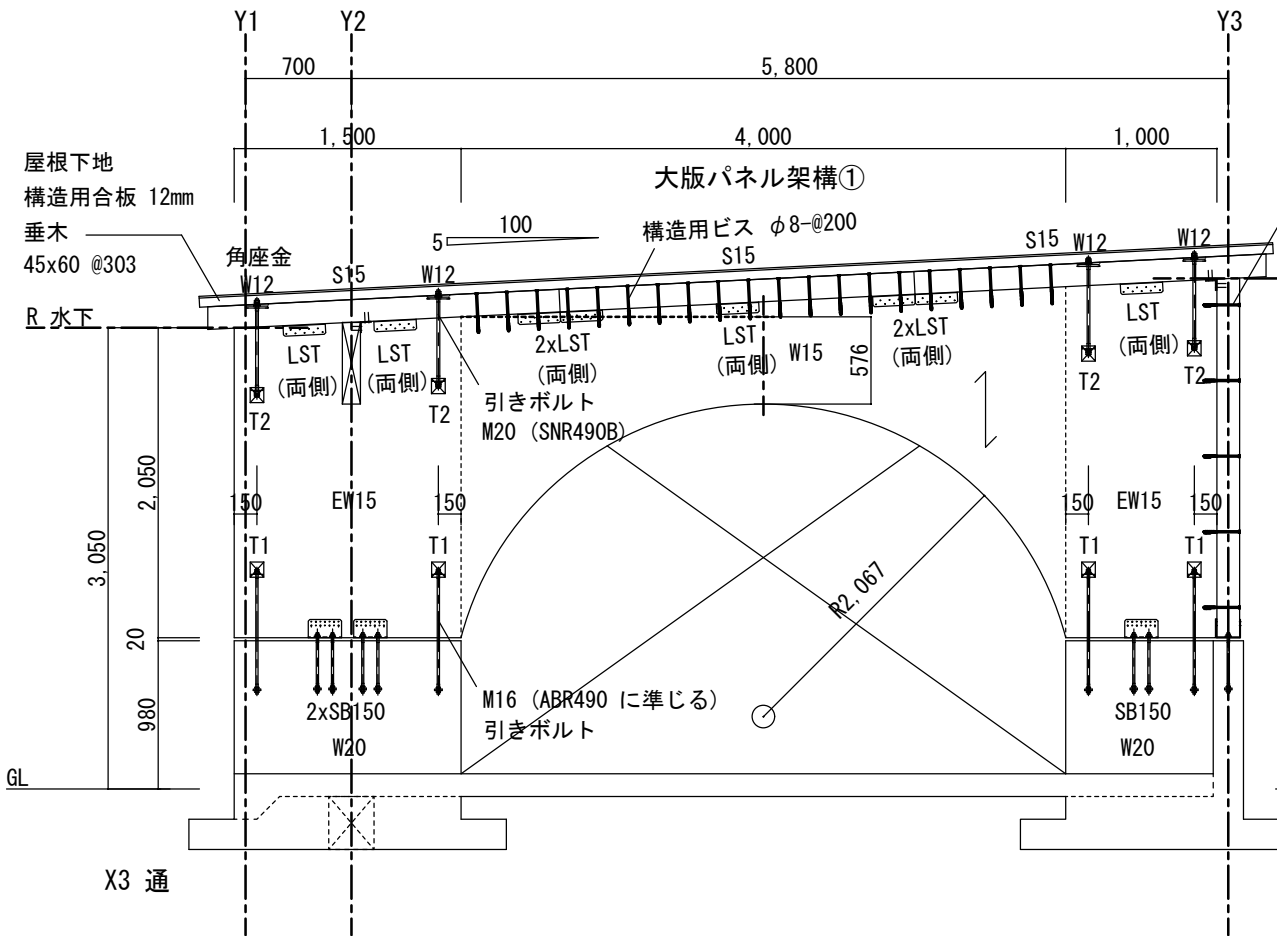
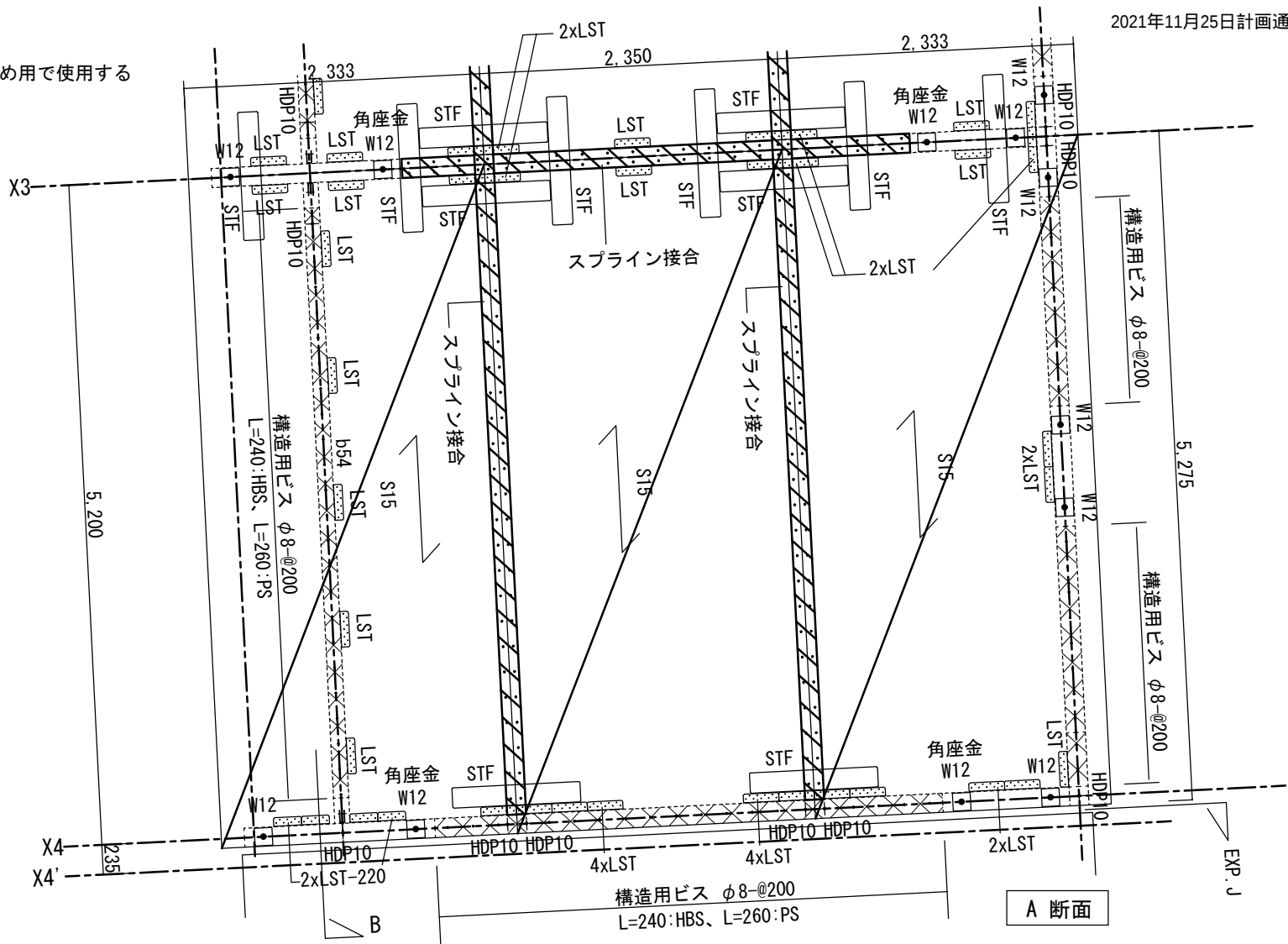
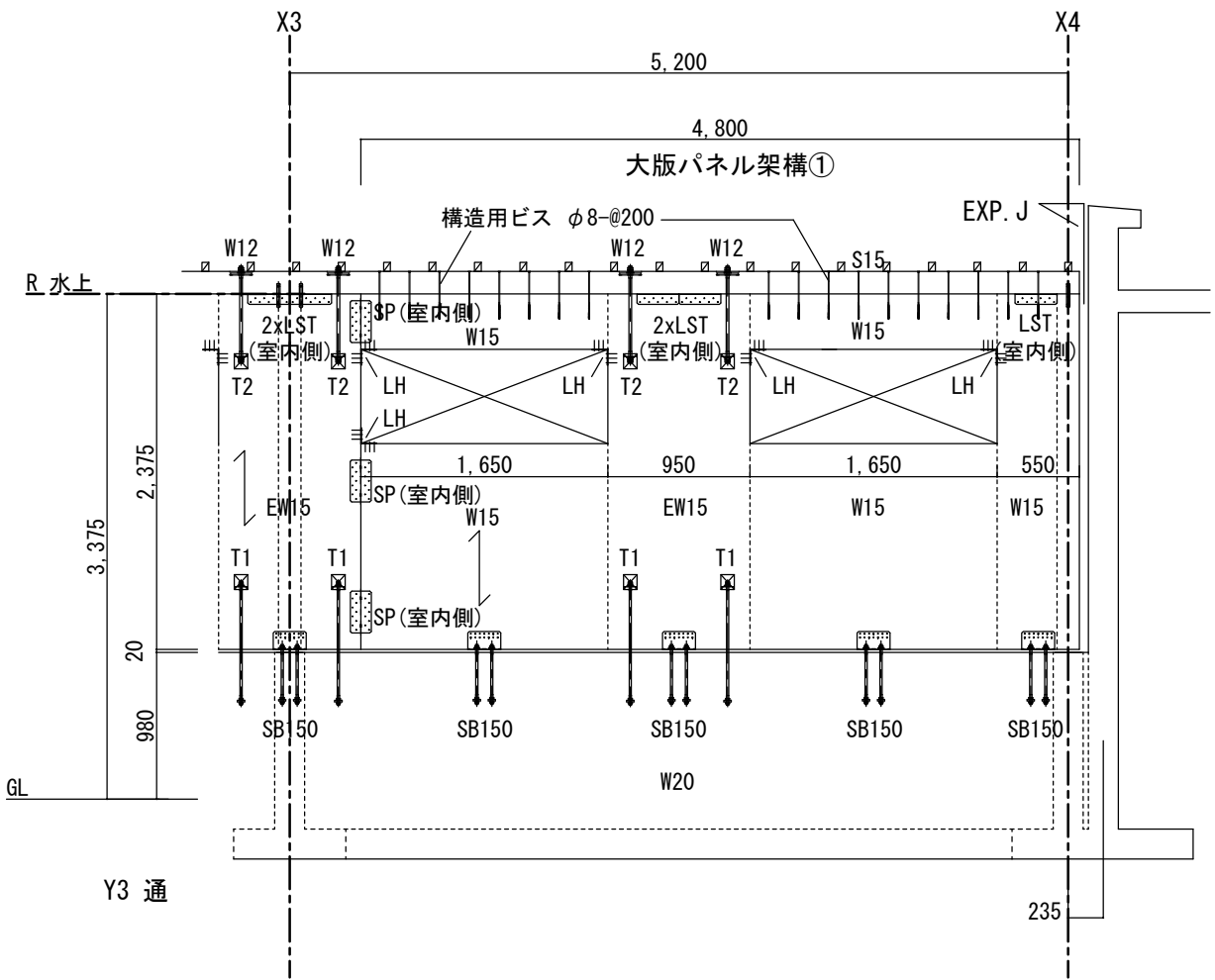
特記なき限り
屋根下地 構造用合板 12mm
垂木 45x60 @303





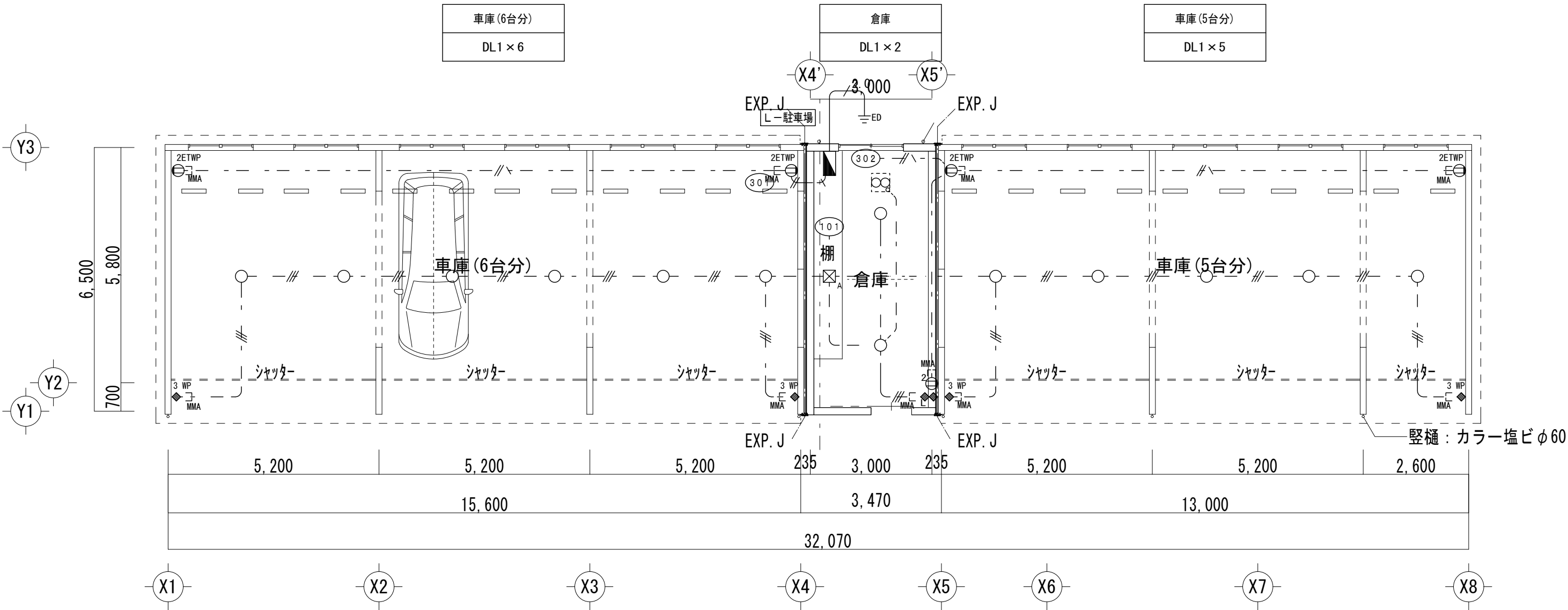
フレーム詳細図

軒先の形状、寸法は施工図により決定する。 HDP10 は 補助材とし、屋根パネルの位置決め用で使用する

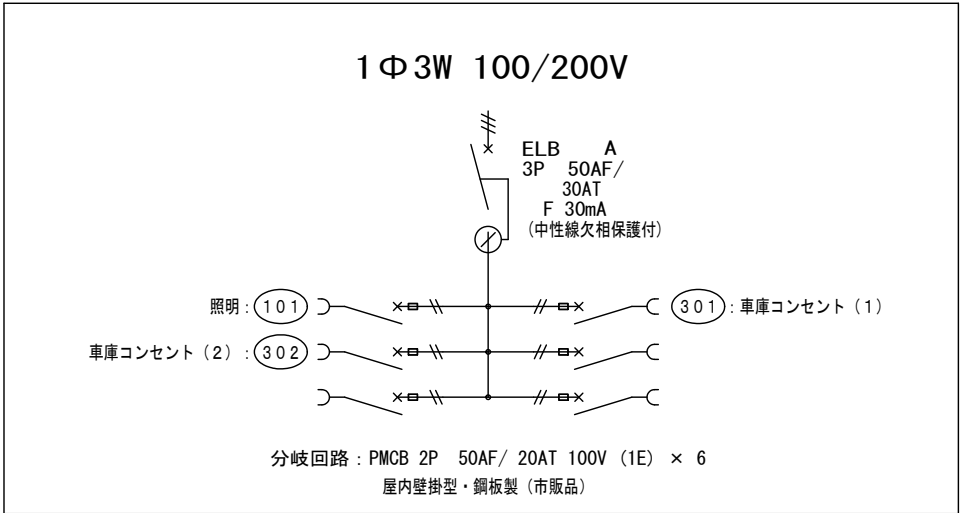


Project				一級建築士事務所 知事登録第 1 6 2 5 号 一級建築士 大臣登録第 3 3 9 1 0 5 号 管理建築士 佐藤健太郎		100 100 100	Drawing 接合金物図		Scale S=1/10 (A3)	No. S-18
九州森林管理局車庫建築工事									Date 出力 2020/10/15 更新 2020/10/15 10:29:56	

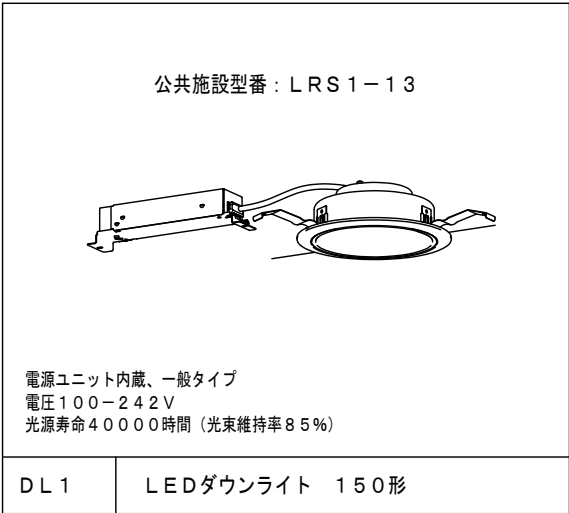
[illegible]



分電盤単線結線図



照明器具姿図



平面図 S=1:100

- 凡例)
- E MMA 1種金属線ぴA型
 - ☒ A ブルボックス SS150×150×100
 - ① 2 埋込コンセント 2P15A×2
 - ① 2ETWP 埋込コンセント 2P15A×2, ET付 (防滴プレート)
- 注記)
- 特記なき配線・配管は下記による。
- - - - - EM-EEF2. 0-2C (ころがし)
 - - -// - - - EM-EEF2. 0-3C (ころがし)
 - - -// - - - EM-EEF2. 0-3C (ころがし)
- ・立上げ立下げは適合するP F管にてケーブル保護の事。

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

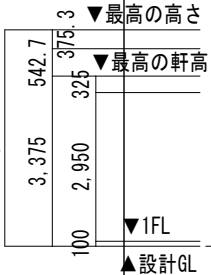
2021年11月25日計画通知(確認済)

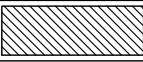
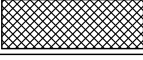
2021年11月25日計画通知(確認済)

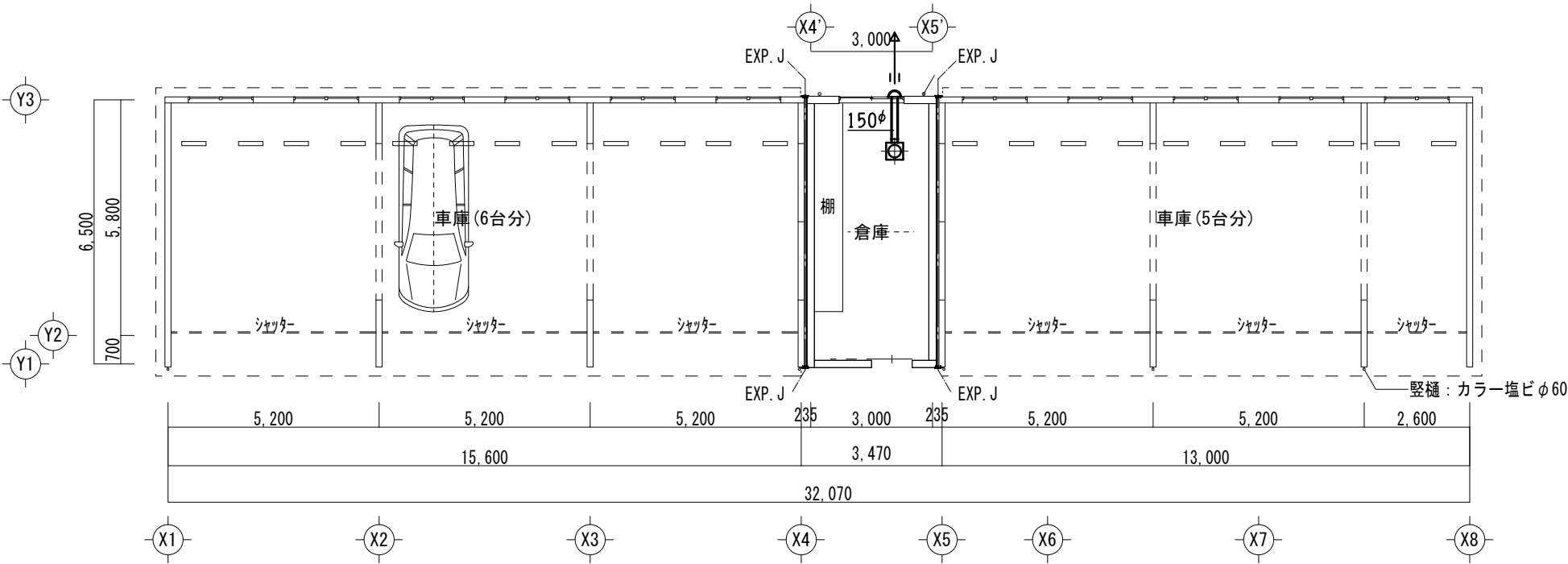
2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(確認済)

2021年11月25日計画通知(



凡例	
	埋設標（コンクリート製）
	埋設標（ピン）
	コンクリート研り補修部分
	アスファルト研り補修部分
	既設管接続



平面図 S=1 : 100

天井扇	1台
プラスチック製 低騒音タイプ 150φ×250mm ³ h×40pa×30w 深型フード (SUS) 防虫網付 <VD-18ZC10>	